

CROWN Jr.

5 6



三省堂

三省堂は子供たちの豊かな



三省堂の英語教科書この40年



1978年初版の中学校用『NEW CROWN』は、言語教育、国際理解教育、人間教育を柱とした画期的な教科書として多くのご支持をいただきました。

以来、小社の教科書作りにおいては、子供たちが「楽しめる題材」と子供たちに「考えさせる題材」をバランスよく扱うよう心がけてきました。

ことばの学びをサポートします

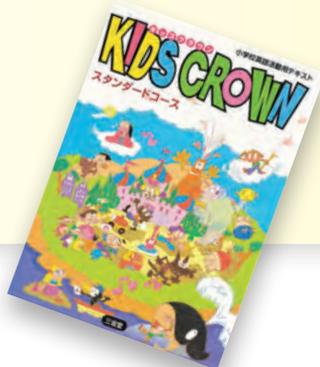
三省堂は1881年（明治14年）に創業し、今年4月8日で138周年を迎えることができました。これもひとえに教育関係者の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。138年の歴史はまた三省堂の教科書発行の歩みでもあります。

1899年（明治32年）に中等学校用英語教科書を発行し、1916年（大正5年）には現在小社の代表的書名となっている『クラウン』を冠した『クラウンリーダー』を発行しています。

以来、明治から大正・昭和・平成、そして令和の五代にわたって教育現場に寄り添う、創意工夫した教科書づくりを実現してまいりました。

現在では、中学校では『NEW CROWN』、高校では『CROWN』をはじめとした英語の検定教科書を発行しており、全国の多くの先生がた、教育現場、教育関係者の皆様から大きな支持を得ております。

2020年度から正課となる小学校「外国語（英語）」に向け、小社では『CROWN Jr.』を発行します。子供たちが楽しく学んでいく中で、英語の基礎的なコミュニケーション能力を養い、発達段階に応じた資質を身につけられることを目指しました。これによって、小学校『CROWN Jr.』から中学校『NEW CROWN』、そして高等学校『CROWN』へと続く一貫した英語教育が完成します。



2003年には、小学校英語活動用の副教材『KIDS CROWN』を刊行。



『NEW CROWN』
(2016、現在の中学校用)



『CROWN』
(2017、現在の高等学校用)

おかげさまで、現在、小社の英語の教科書は、中学校、高等学校ともにトップクラスの採用があり、ご愛用いただいている多くの先生、教育関係者の方々からのご信頼を得ております。

教科「外国語」が始まります。『CROWN



『CROWN Jr.』の表紙

5年は、「出会い」を、6年は「はばたき」をテーマにしています。人との出会い、自然、文化、社会との出会いを通じて、さまざまなことを学び、それらを深め、未来に向けてはばたいてほしいという願いがこめられています。イラストは児童向けノベルズの挿絵で大活躍の加藤アカツキさんにお願しました。

『CROWN Jr.』がめざす英語の学び——小中高、一貫した教育理念

三省堂は、英語教科書を編集するにあたり、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、それを具現化するため、次の4点を編集の基本方針としました。

ことばを使う力を育てる

ことばに気持ちを乗せられる活動を通して、
基礎的な英語力を育成する

→ポイント2

他とかかわろうとする心を育てる

児童の世界を広げる題材を通して、人や文化など、
他とかかわろうとする心を育む

→ポイント3

学びに向かう力を育てる

学ぶことを楽しむ心を育み、
主体的・協働的に学ぶ力を育成する

→ポイント1、3

考える力を育てる

目的や場面、状況に応じて、
考えながらコミュニケーションを図る力を育てる

→ポイント2

WN Jr.』とともに、Ready, Set, Go!

三省堂では、2020年度の小学校の教科『外国語』の開始に合わせて、

『**CROWN Jr.**』（クラウンジュニア）を発刊いたします。

『CROWN』は小社の歴史ある教科書のブランド。

小学校英語教科書を皮切りに、

中学校・高等学校へと一貫した教育理念に基づく教科書を発刊し、

新たな歴史を築いてまいります。

もくじ

1年間の学習の流れ ……4

ポイント 1 **教えやすく、学びやすい教科書をめざしました。** ……6

1-1 HOP, STEP, JUMPで学ぶプロセスを「見える化」 ……8

1-2 授業づくりがイメージできるわかりやすい紙面構成 ……10

CROWN Jr.をよりご理解いただくためのキーワード ……13

ポイント 2 **確かなコミュニケーション力を育てます。** ……14

子供の学びを支える考え方 ……16

2-1 HOPで学びの見通しを立てます。 ……17

2-2 わくわく! 多彩な活動が展開できるPanorama ……18

2-3 たっぷり英語に触られます。—— ボトムアップ型 ……20

2-4 たっぷり英語に触られます。—— トップダウン型 ……22

2-5 むりなく文字に親しめます。—— 「読む」と「書く」 ……24

2-6 考える力、判断する力、表現する力を育てます。 ……26

授業展開例 ……28

ポイント 3 **子供の意欲を引き出し、学びに向かう力を育てます。** ……30

3-1 多様な題材で子供たちの学ぶ意欲を高めます。 ……32

3-2 充実した付録で自ら学ぶ力を育みます。 ……34

その他のさまざまな工夫 ……36 『Let's Try!』/『We Can!』/中学校との連携 ……38

評価の考え方 ……39 教科書Q&A ……40

人と環境にやさしい教科書づくり ……41 授業を支える充実の指導書・教材 ……42

CROWN Jr.指導者用デジタル教科書(教材) ……44

(資料) **指導・学習内容一覧** ……46

検討の観点と内容の特色 ……50



『CROWN Jr.』のガイド役キャラクター
モーナ(左)とポラリン(右)

1年間の学習の流れ

5年

4月～7月 英語で言えるかな

HOP Get Ready 1

STEP Lesson 1
Lesson 2

JUMP Presentation 1

よろしくね！

- 自己紹介
- できること・とくいなこと

My name is
I have / I like
I can

自分の好きなこと、
とくいなことを紹介する

9月(8月)～12月

HOP Get Ready 2

STEP Lesson 3
Lesson 4
Lesson 5

JUMP Presentation 2

教えて、先生のこと

- 友だちや家族の紹介
- 一日にすることとその時間
- ふだんよくすることや習慣

She/He is
I . . . at (時間).
I . . . on (曜日).

インタビューして
わかったことを伝える。

1月～3月

HOP Get Ready 3

STEP Lesson 6
Lesson 7

JUMP Presentation 3

日本のこと、伝えたい

- ものの位置や場所
- 行きたい国としたこと

It is on / in / by /
under
I want to go to

日本のおすすめの場所や
ものを紹介する。

前学年のふりかえり

各学年の冒頭には、前の学年までに経験したことを振り返るコーナーを設けました。

HOP, STEP, JUMPで構成された大単元

学年に3つの大単元を設定し、その中に「学びの見通しを立てる」(HOP)、「コミュニケーション活動を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得」(STEP)、「実際の場面で表現する(活用)」(JUMP)の3種類の小単元を配置しました。

場面に特化した活動 Try

特有な表現がよく使われる場面のうち、世界の時差、道案内(5年)、買い物(6年)については、Tryを配置して、単独の活動として扱います。

ふろく

CAN-DOリストをはじめ、表現するためのヒントになる情報や子供の世界を広げるコラムなどを用意しました。

2学年を通して、CAN-DOリストに紐づいた6つのプロジェクト型の活動を設定し、子供たちがプロジェクトに向けて目的を持って取り組めるよう、活動や言語材料を選択し、配列しました。言語材料の選択は、移行教材『We Can!』（文部科学省）の学年配当を参考にして、スムーズに移行できるよう配慮しました。題材や場面は、高学年の発達段階に合わせ、子供たちに身近なものと、他教科や異文化理解につながるものを取り上げました。

6年

英語で言えるかな

●好きなもの、持っているものを英語で言おう。



大単元

HOP
Get Ready

見通し

STEP
Lesson

知識・技能の習得

JUMP
Presentation

実際の場面で表現
(活用)

ふりかえり

Turn left at the hotel.



4月
～
7月

英語で言えるかな

HOP Get Ready 1

STEP Lesson 1
Lesson 2

JUMP Presentation 1

ようこそ、わたしたちの学校へ

- 友だちや家族のこと
- 日本の行事や文化

We are . . .
We can . . .
We have . . . in (月).

学校行事の魅力を
紹介をする。



9月(8月)
～
12月

HOP Get Ready 2

STEP Lesson 3
Lesson 4
Lesson 5

JUMP Presentation 2

こんな思い出、あるよね

- 夏休みや週末にしたこと
- ものの様子や特徴
- 現在の状態と過去の状態

I went to . . .
I saw/ate/enjoyed
~ing.
It is (形容詞).
It was (形容詞).

小学校の思い出を
紹介をする。



1月
～
3月

HOP Get Ready 3

STEP Lesson 6
Lesson 7

JUMP Presentation 3

かなえない、わたしの夢

- つきたい職業
- 日本の文化・他国の文化

I want to be (職業).

将来の夢を伝える。



ふるく

ポイント

1

教えやすく、学びやすい

外国語活動に楽しく取り組んでいる
子供たちの姿に元気をもらう一方で、
教科になったらどう教えたらよいだろうか、
英語の発音は大丈夫だろうか、
子供たちは英語嫌いにならないだろうか、と
不安を抱いている先生もいらっしゃるかもしれません。
私たちは、先生がたも子供たちも
安心して授業に向かえるような教科書づくりを
第一に心がけました。

教科書をめざしました。

ポイント 1-1 **HOP, STEP, JUMP**で学ぶプロセスを「見える化」

ポイント 1-2 授業づくりがイメージできるわかりやすい紙面構成



HOP, STEP, JUMPで学ぶプロセスを

- 見通し→習得→活用のスモールステップで、指導がしやすいつくりです。
- 各小単元のねらいが明確なので、評価がしやすくなっています。

■各学年にHOP～STEP～JUMPの大単元を3つずつ配置しています。

4～7月

HOP STEP STEP JUMP

9(8)～12月

HOP STEP STEP STEP JUMP

1～3月

HOP STEP STEP JUMP →

大単元の流れ

学びの見通しを立てる

HOP
Get Ready



HOPでは、大単元の全体像を把握します。子供が自身の力を確認する活動をおこない、JUMPでどのようなことを言えるようになりたいか、学びの見通しを立てます。

→p.12, p.17参照

コミュニケーション活動を通して基礎的・基本的な知識・

STEP
Lesson



STEPでは、場面を通して表現や語彙に出会い、それらを使いながら身につけます。「聞く」「話す」を中心に、「読む」「書く」活動にも慣れていきます。複数技能を統合した活動で、運用力を強化します。

→pp.10-11, pp.18-25参照

「見える化」

コミュニケーション力の基礎を身につけるため、『CROWN Jr.』では、2学年で6つの大きな言語活動の目標を設定し、それらに向けて学びを深める大単元構成としました。大単元は、新学習指導要領の3つの柱「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を図れるよう、ねらいの異なる小単元を、段階を追って配置する構成としました。

CAN-DO リスト



スモールステップで、小さな成功体験を重ねられるので、学びたい気持ちを保つことができるね。



学習の進捗を表すアイコン

技能を習得する

実際の場面で表現する(活用)

ふりかえり

JUMP

Presentation

The screenshot shows a worksheet titled 'He is a music teacher.' with three main sections: 'JUMP 1' (Think), 'JUMP 2' (Use), and 'JUMP 3' (Review). It includes a 'Word Bank' with various professions, a 'Can you play tennis?' dialogue, and a 'Who is he?' section with a photo of a man and a list of professions to choose from.

指導書などでワークシートや子供の言語活動を見取るルーブリック(評価基準)を提供。

JUMPでは、経験した表現や語彙を、場面や目的の明確な言語活動の中で、思考力を働かせながら使います。JUMP ①、JUMP ②の2つの活動を配置し、一度活動した後に修正してやり直すことで、子供が達成感を得られるようにしました。

→ p.12, pp.26-27参照

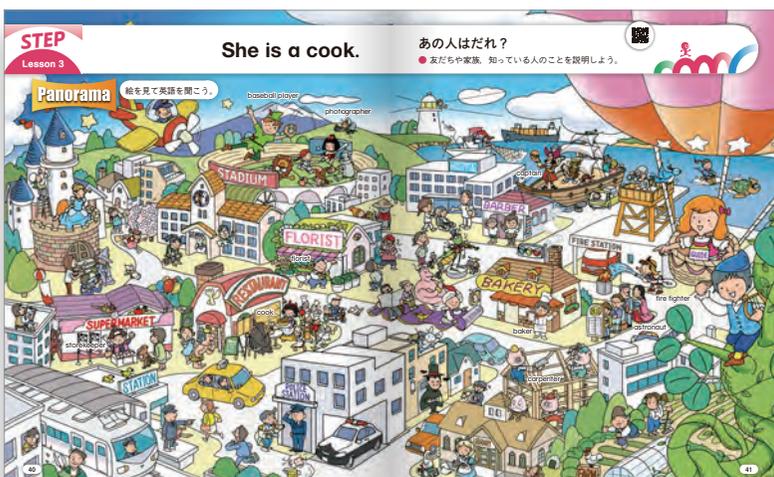
授業づくりがイメージできるわかりやすい

- パターン化された紙面構成で授業が組みやすくなっています。
- どこに何があるか、何の活動なのか、子供にもわかりやすい紙面構成です。

インプット (パノラマ)

Panorama

- 楽しいイラストで、会話の場面と状況を提示。
- 気づきを促す豊富なインプット。



STEP

Lesson

焦点化したインプットを経てア

- ターゲット表現を経験するボトムアップ型の活動。
- 推測して理解する力を育成するトップダウン型の活動。
- 英語の音や語句に慣れ親しむ楽しいチャンツ。

◆5年
pp.40-49

6時間配当

各パートの詳細→
pp.18-25 参照
授業展開例→
pp.28-29 参照

Part 1 Listen & Talk Lesson 3

Spotlight ① 40-41 ページのパノラマの人物あてクイズや職業あてクイズをしよう。
② 人物紹介を聞いて、() に番号を書こう。

(a) (b) (c) (d)

Sound Chant

peach pineapple pie baseball basketball boat happy hungry hot

Part 1 Story Twelve Months (1) Lesson 3

12月の寒い日、マルツカは母と姉に森へ出かけるよう言いつけられます。

1 I want strawberries. 2 Thank you.

① どんなお話でしたか。どんなことが聞かれましたか。
② もう一度聞こう。

Part 2 Listen & Talk Lesson 3

Spotlight ① ふたりの人が写真を見ながら話しています。会話を聞いて、だれのことを言っているか、() に番号を書こう。
② 人物あてクイズをしよう。

(a) (b) (c) (d)

Word Chant

teacher school doctor/nurse hospital police officer police station

各Partとも下段は語句や表現の練習。

Sound Chant 英語の音に慣れ親しむチャンツです。

Word Chant いろいろな語句に親しむチャンツです。

Talk to Friends Enjoy Listening の文章の異なる例を提示します。

紙面構成

STEPでは、Lessonの構造を同じにすることで、どこに何があるかがわかりやすく、1レッスン、1時間の授業の組み立てがしやすい構成を実現させました。子供たちも、安心して楽しく活動に取り組むことができます。



次に何をやるかわかるので、英語が多少わからなくても、ついていけそう。

まとめの活動 (Write & Talk など)

- レッソンのまとめの活動。
- 経験したターゲット表現で「発表」「やり取り」「書く」活動。

アウトプットへ (Part 1~3)

各Partとも左ページ上段は **Listen & Talk** ターゲットの表現を学びます。

Write & Speak わたしのヒーロー

①音声を聞いて、HeとSheのどちらかを4線に書こう。

(a) He is a teacher.

(b) She is a fire fighter.

(c) _____ is a nurse.

(d) _____ is a police officer.

②あなたのヒーローについて書こう。HeかSheは、どちらかを選んでなぞろう。

Word Bank

a doctor, a fire fighter, a nurse, a teacher, an actor, a baseball player, a cartoonist, a police officer, a singer, a soccer player.

This is _____ (He) _____ (She) is my hero.

He/She is _____ (しよくぎょう)

③あなたのヒーローをクラスの友だちに紹介しよう。

Part 2 Lesson 3

Enjoy Reading

Look at the pan. It is big. It is hot, too.

①文字を追いながら、英語を聞こう。どんな話でしたか。②文字を追いながら、読めるところは声に出して読もう。

baker, bakery, farmer, farm, fire fighter, fire station

Part 3 Lesson 3

Listen & Talk

Spotlight どんなことを言っているか聞こう。

A He can fly. He is good at baseball. B C

①どの人物のことを言っているか、()に番号を書こう。

(a) (b) (c) (d)

②家族や友だちのとくいなことを紹介しよう。

Talk to Friends 4人の話を聞こう。参考にして、友だちに伝えよう。

Part 3 Lesson 3

Enjoy Listening

どんなことを言っているか聞こう。

①どんな話をしていましたか。どんなことが聞こえましたか。②もう一度聞こう。

Write & Talk / Write & Speak / Listen & Write

「書く」活動も取り入れながら、ターゲット表現を使って自己表現をします。

各Partとも右ページ上段は各種活動。

Story なじみのある物語を英語で味わいます。

実世界の英語 教室の外の世界で出会う英語に親しみます。

Enjoy Reading お話を聞きながら、文字に親しみます。

Enjoy Listening 各パートで経験した表現を、まとまりのある文で確認します。

★5つの領域を示すアイコンで、どんな力を育成するかを明確にしました。





◆5年 p.39

Task 1

診断タスク

今の力でできることをやってみる。

Task 2

動機づけタスク

JUMPで目指す姿を確認。

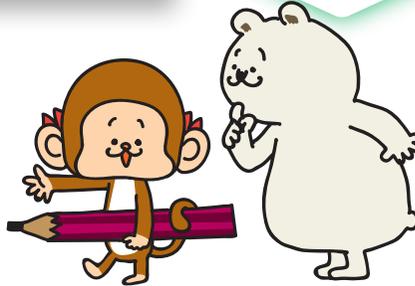
My Goal

目標設定

ゴールへの見通しをもつ。

HOPでは、子供たちは活動をやってみて、それまでに経験した力でできること、できないことを確かめ、JUMPに向けて目標を設定します。

1時間
配当



HOPで目標設定したことが、JUMPに結びついているんだね。STEPも目標をもって取り組めよう。

JUMP ①

目的・場面・
状況の理解

見通し、準備

コミュニケーション活動

JUMP ②

JUMP ①でできなかったことを修正して再チャレンジ

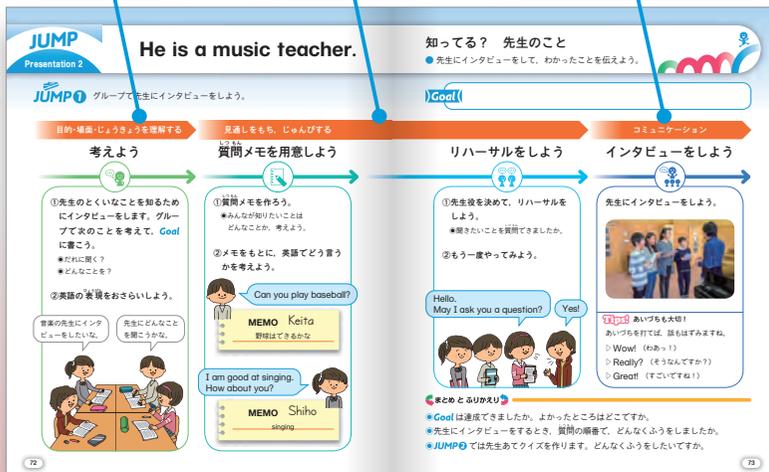
6~8時間配当

詳細→

pp.26-27 参照

授業展開例→

pp.28-29 参照



◆5年 pp.72-74



CROWN Jr.をよりご理解いただくためのキーワード

『CROWN Jr.』は、HOP → STEP → JUMPという学びのプロセスを踏まえた特徴的な構成になっています。この構成を支える考え方をご理解いただくために、新学習指導要領や英語教育における2つのキーワードについて、『CROWN Jr.』と関連させながら整理しました。

●主体的・対話的で深い学び

新学習指導要領の特徴のひとつは、「何を学ぶか」に加えて「どのように学ぶか」についても記述されている点です。「どのように学ぶか」のキーワードが「主体的・対話的で深い学び」です。

「主体的な学び」の実現には、児童がコミュニケーションをおこなう目的を理解し、「やってみたい」「学んでみたい」という意欲をもつこと、どう学んでいくのかを自ら考えること、そして学んだあとは学習全体をふりかえるというプロセスが大切です。HOP → STEP → JUMPの大単元、STEPやJUMPの小単元は、そうしたプロセスをなぞる構造となっています。

「対話的な学び」で重要なことは、対話を通して学べるような言語活動をすることです。その実現のために、Listen & Talk、Talk to Friends、Write & Talk、JUMPなどにおいて、趣旨を生かした活動を設定しました。

「深い学び」とは、「知識及び技能」にかかわる資質・能力を、「思考力、判断力、表現力」などを働かせて活用することによって断片的な知識に終わらせない学びをすることです。STEPでの「知識及び技能」に力点を置いた学びを受け、JUMPで「思考力、判断力、表現力」を活用して学びを深める構造になっているのはその具体化の1つです。

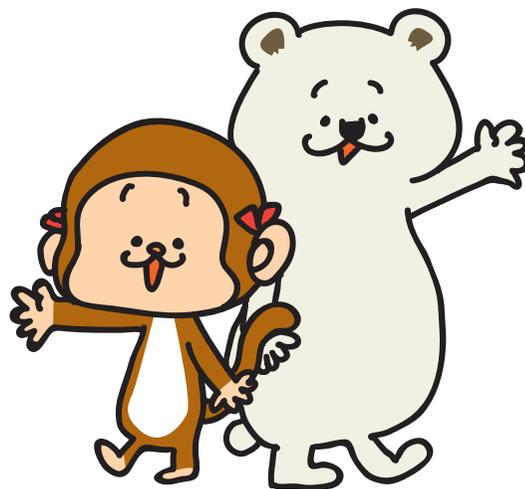
●CAN-DOリスト

CAN-DOリストとは「外国語を使って何ができるか」を具体的な行動として記述した文のリストのことです。このリストがあることで、目指す姿が明確になり、先生方にとっては指導と評価の改善に活用でき、子供たちにとっては、自ら学ぶ態度・姿勢を身に付けたり、達成感を持つことで学習意欲を向上させることが期待されています。

『CROWN Jr.』では、各学年の巻末にCAN-DOリストのページを設け、「自分が好きなことや、とくいなことなどを紹介することができた」(「話すこと(発表)」)や「英語の大文字を見て、声に出して読めるようになった」(「書くこと」)などの記述文を提示しています。各記述文には、どの技能と関連しているのか、本編のどの活動と関連しているのかなどの情報も付けました。

このCAN-DOリストを、学年の始めに目標として意識づけをしたり、学年の途中や終わりにふりかえて自分の力を確認することで、子供たちの学びに向かう力を育むことができます。

JUMPに紐づいた各学年3つ(2学年で6つ)のCAN-DOの記述文は、小学校卒業時に、英語で何ができるようになったかを端的に表現しており、『CROWN Jr.』本編の単元構成の根拠となっています。



ポイント 2

確かなコミュニケーション

教科としての外国語（英語）では、
コミュニケーションを図る基礎となる
資質・能力の育成をねらいとしています。
教科となれば、楽しく活動をしながらも、
英語力が身に付くという成果が求められます。

私たちは、ことばの習得の理論、子供の発達段階、
小学校現場での実情をふまえ、
また中学校の英語学習につなげていくために、
次のことを心がけました。

- 子供たちが触れる英語の質と量の確保
- 必然性のある場面設定
- 子供の気持ちに寄り添った言語活動

楽しく活動に取り組んでいく中で、
確かなコミュニケーション力が育つことを願っています。

ン力を育てます。

ポイント 2-1 HOPで学びの見通しを立てます。

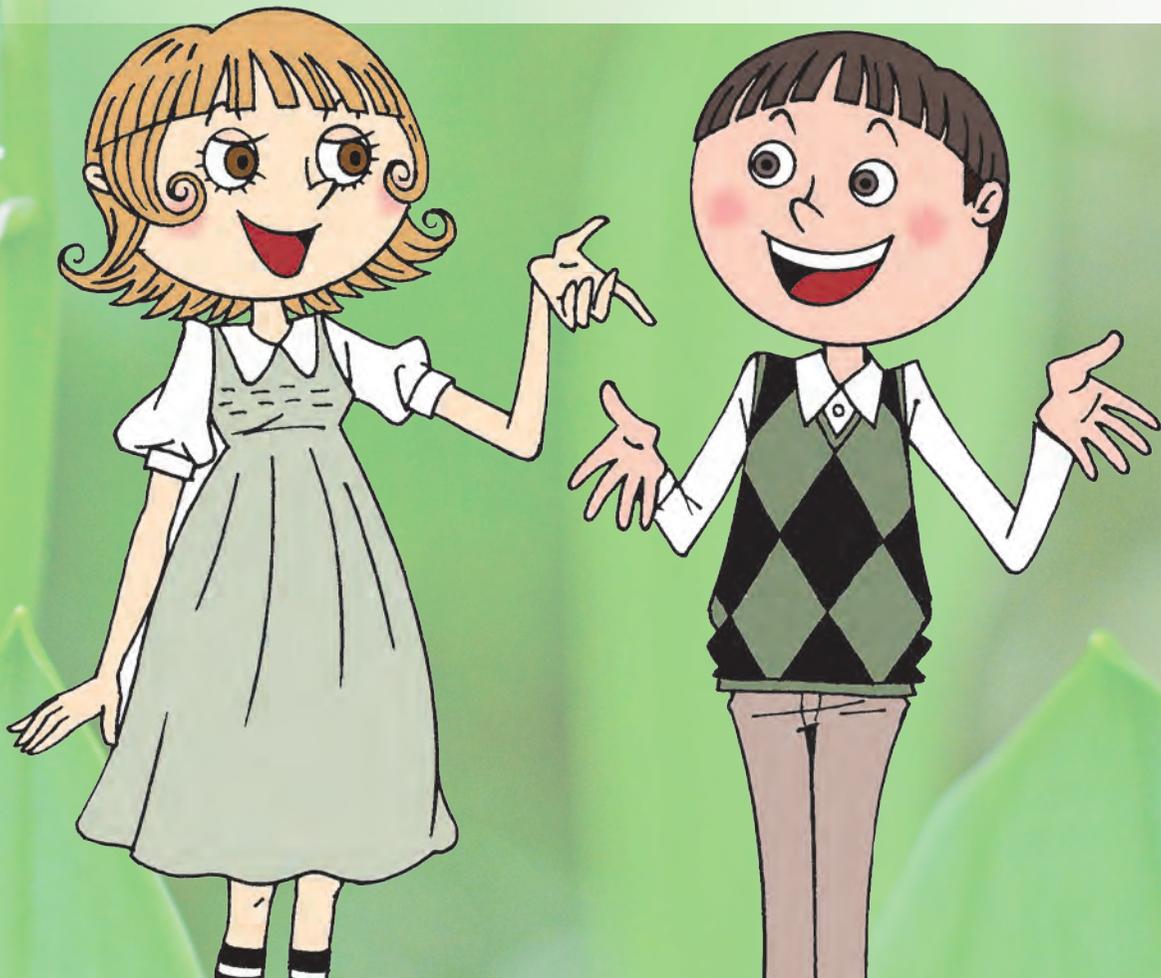
ポイント 2-2 わくわく! 多彩な活動が展開できるPanorama

ポイント 2-3 たっぷり英語に触れられます。—— ボトムアップ型

ポイント 2-4 たっぷり英語に触れられます。—— トップダウン型

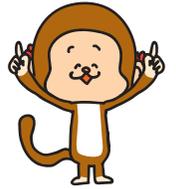
ポイント 2-5 むりなく文字に親しめます。—— 「読む」と「書く」

ポイント 2-6 考える力、判断する力、表現する力を育てます。





子供の学びを支える考え方



『CROWN Jr.』を深く理解していただくために、教科書の構成や教材の選択、活動の設計を理論的に下支えしている子供の言語習得の考え方を整理しました。

大量のインプットが必要

赤ちゃんは、まわりの大人が話しかけるたくさんのことばを聞いて、1歳半から2歳くらいでようやく話し始めます。外国語の学習も基本的には同じで、たくさんのインプットがあってはじめて、少しずつことばが口から出るようになっていきます。先生がたの子供へ語り掛ける英語(Teacher Talk)や、ターゲット表現を含めた一連の会話などは、目的や場面、状況が明確な、いわゆる「文脈のある」英語であり、すぐれたインプットです。『CROWN Jr.』ではそのようなすぐれたインプットを大量に与える豊富な音源を用意しています。

思考を働かせながら聞いたり読んだりする

子供は、すべてを理解できなくても聞き続ける力や読み続ける力(あいまいさに耐える力)を活用しながらことばを習得します。外国語学習でも、理解できたことに基づいて、全体の内容を推測しながら聞いたり読んだりし続けることが大切です。『CROWN Jr.』では、習っていないことばが入っている文を聞いたり読んだりする機会も提供しています。内容理解のためのキーワードを、十分に慣れ親しんだことばに限ることによって、子供はキーワードをたよりに、こんな意味のことを言っているんだな、書いているんだなと、推測していきます。

自分の「思い」をことばにして学んでいく

与えられた定型表現を言っているだけでは、ことばは身につけません。自分の言いたいことがあり、それをどんな英語で言えばよいか、自分が言える表現の中ではどれが使えるかを「思考」し、「選択」する経験を積んでいくことが、英語の表現力をつけることにつながります。『CROWN Jr.』では、「子供本位の活動」を設計しました。教員がコントロールする場面もちろん必要ですが、子供が本当に言いたいことを言う機会を作ることもまた、大切だと考えました。子供自身が思考し、判断し、表現する経験を積み重ねることで、子供たちの英語の世界を広げます。

習ったことが使えるまでには時間がかかる

どんなことでも、「習った(=知った、理解した)」からといってすぐに「使える」ようにはなりません。とりわけ外国語学習においては、習ってから使えるようになるまで、長いスパンを要します。習ったことに別のさまざまな場面や状況で繰り返し触れたり、教員の助けも借りながら使ったりといった経験を積み重ねてようやく、自分の力だけで使うことができるようになります。指導にあたっては、成果を急がないことが大切です。『CROWN Jr.』ではHOP → STEP → JUMPの長いスパンの中で、スパイラルに表現や語彙に触れることで力をつけていくことを目指しています。

HOPで学びの見通しを立てます。

- 大単元の始まりである**HOP**では、**STEP**、**JUMP**へと続く学びを見通します。
- まずは活動をして、今の自分の力を確認し、**JUMP**に向けて目標を設定します。

HOP

1時間
配当

HOPは、学びのプロセスの起点である重要な小単元です。JUMPではだれにどんなことを伝えたいか、そのためにどのようなSTEPを積み重ねていけばよいかを確認し、「なりたい自分」をイメージして自らの学びの見通しを立てるのが、この小単元の役割です。HOPに戻ってくれば、いつでも目標を確認できます。

HOP
Get Ready 2

Hello, Mr. Sano!
教えて、先生のこと

1

2

人物あてクイズ

Task 1 クラスの友だちになりきって、「Who am I?」クイズをしてみましょう。

Task 2 ゆうたさんが佐野先生とサントス先生にインタビューをしました。インタビューを聞きましょう。その後、人物あてクイズに答えましょう。

My Goal **HOP**、**STEP**、**JUMP**を通して、インタビューをして、その人のことを紹介できるようになります。だれに、どんなことを質問したいかを書きましょう。

だれに _____

どんなことを _____

◆5年 p.39

Task 1

練習なしで活動に取り組み、今の自分の力で言えること、言えないことを確認します。

Task 2

イラストを見ながら、それぞれの英文を聞きます。英文の内容は、**JUMP**のモデルなので、子供たちは目指す姿を確認することができます。

★①スクリプト

Yuta: Hello, Mr. Sano. Can you cook?
 Mr. Sano: Yes, I can. I am good at cooking.
 Yuta: I can't eat *natto*. How about you?
 Mr. Sano: I can't eat *natto*, either. I don't like *natto*.
 Yuta: Thank you.

My Goal

Task 2 で目指す姿を確認したら、**STEP**、**JUMP**を通して、自分はだれに、どんなことを伝えられるようになりたいかを書き出します。**JUMP**の最後のふりかえりでは、この目標が達成できたかを自己評価します。

わくわく！ 多彩な活動が展開できる Pano

- Small Talk や絵さがしゲームなど、多彩な活動が展開できます。
- 子供たちも夢中に！ 学ぶ意欲をかきたてられます。



Panorama では、1枚の絵の中で3つの要素を示しています。

- 場面(この例では、さまざまな職業の人々がいる町)
- ターゲット表現につながる登場人物たちの会話
- 場面やテーマに即した単語

会話

★スクリプト

Gretel: Can you see the man at the bakery? His name is Hansel. He is a baker. He is my brother.

Jack: Wow! Your brother is a baker! You are lucky! I love bread!

* 生き活きとした会話の音源を用意しています。

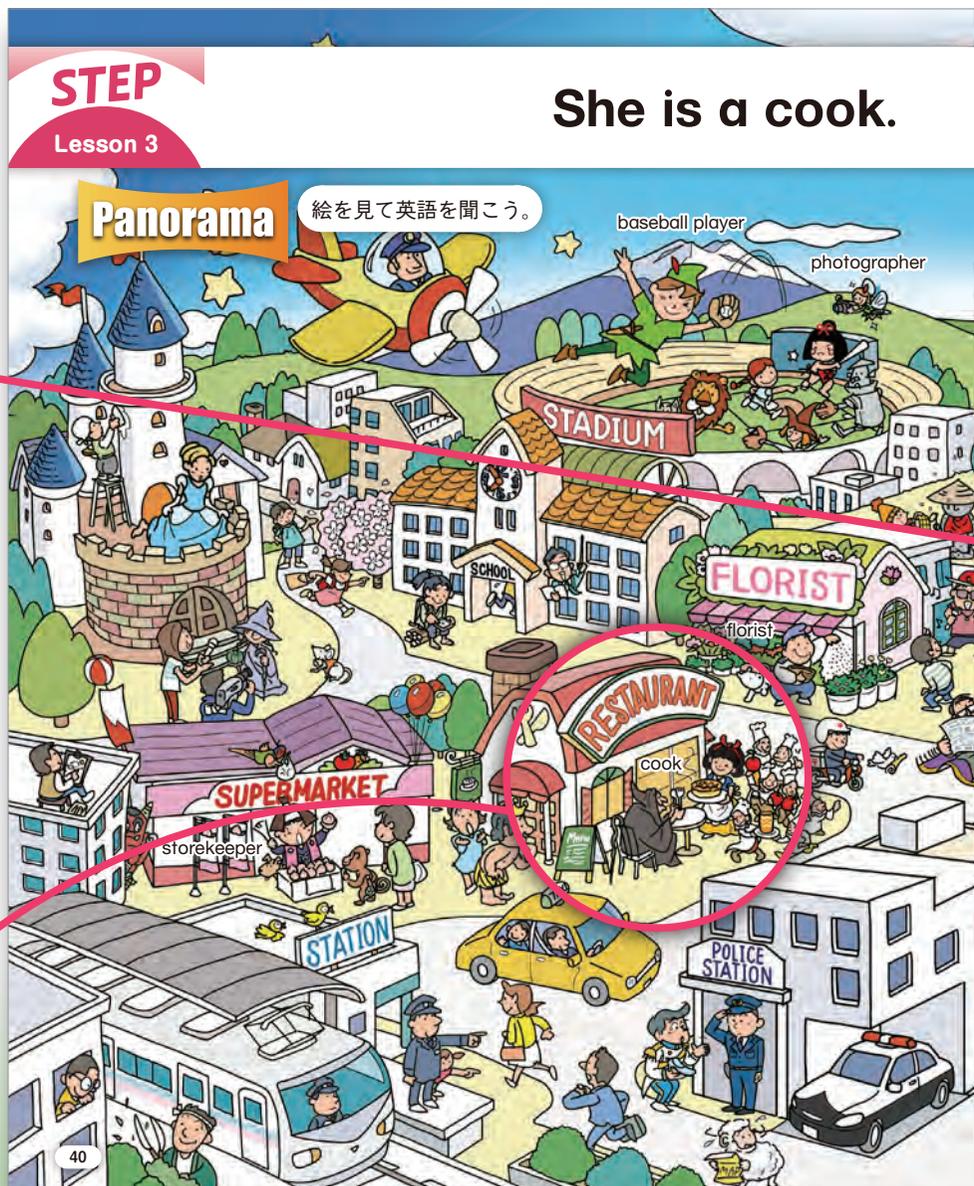
単語

★文字

英語の文字をさりげなく配置。音声を聞いているときに文字が自然に目に入る状況を作ります。

★デジタル教材

文字がないものも、音声聞くことができるので、絵辞典として使うことができます。



各Lesson
6時間配当

1枚絵の楽しいイラストで、明確な場面の中でその課のターゲット表現や語句を提示します。Teacher Talkでターゲット表現や語句の導入、既出表現を使ってSmall Talkなど、多彩な活動が展開できます。毎回の授業はこのページからスタートすれば、英語の授業への動機づけ、ウォームアップができます。

デジタル機器などで読み取ると、単語の音声
を聞くことができ、絵辞典として使えます。

あの人はだれ？

● 友だちや家族、知っている人のことを説明しよう。



Panoramaをこんなふうに使ってください

Small Talk



単語や表現の導入・習熟



絵さがしなどの活動



使い方を動画でサポート

小社ウェブサイトでは、動画でパノラマを使った活動例を紹介しています。



- ターゲット表現は、少しずつ、何度も触れて確実に習熟していきます。
- 子供の気持ちに寄り添った活動を設定しています。

Listen & Talk

●Spotlight B・Cでターゲット表現をさらにインプットします。



●Spotlight Aは、パノラマで展開される対話からターゲット表現に焦点化していきます。

使い方を動画でサポート
小社ウェブサイトでは、動画でListen & Talkを使った活動例を紹介しています。

●大量のインプットを与えながら、徐々に子供のアウトプットを促します。

◆5年p.42, 44, 46

Word Chant

Word Chant (Part 2に配置)では、チャンツを楽しみながらさまざまな語彙に触れます。



◆5年pp.44-45

アップ型

TEP



各Lessonは、豊富なインプット(聞く・話す)と少しのアウトプット(話す・書く)の構造になっています。Listen & Talk → Enjoy Listening → Talk to Friends の流れの中で、既出表現に何度も触れ、インプット・アウトプットが繰り返されることで習熟を図るようにしています(ボトムアップ型の学び →p.23 NOTE)。

Enjoy Listening

Lesson 3

Enjoy Listening

どんなことを言っているかを聞こう。

①どんな話をしていましたか。どんなことばが聞こえましたか。
②もう一度聞こう。

◆5年p.47

Part 1~3の3回の **Listen & Talk** で焦点化して経験した表現を、まとまりのある文章の中で確認していきます。その文章は後で子供が表現活動をする際のサンプルになります。

★スクリプト

This is Mr. Brown.
He is an English teacher.
He is good at singing.

Enjoy Listening の文章の異なる例を4つ提示しています。それらの例を参考にして、自分のことを伝え合う活動につなげます

Talk to Friends

Talk to Friends 4人の話を聞こう。参考にして、友だちに伝えよう。

◆5年 pp.46-47



各Lessonの活動の経験が **JUMP** につながっていくんだね。

- 楽しく聞き続けられる音源を豊富に用意しました。
- 子供のアウトプットを引き出す活動のバリエーションは、指導書やデジタル教材で提供します。

たっぷり英語に触れられます。—— トップ

- 世界を広げる題材で、子供の興味を引き付けながらたっぷりと英語に触れることが
- イラスト、場面、状況、わかることばなどを頼りに、推測する力を養います。



Story

- 子供たちになじみのある物語を英語で楽しめます。
- イラストを助けに、「聞き取れた」「(吹き出しの英語を)読めた」という達成感子供たちに与えます。

Story 🗣️ Twelve Months (1)

12月の寒い日、マルーシカは母と姉に森へ出かけるよう言いつけられます。



- ①どんなお話でしたか。どんなことばが聞こえましたか。
- ②もう一度聞こう。

◆5年p.43「12の月のおくりもの」

イラストを見ながら、お話を聞きます。

★スクリプト

Horena: Mother! Mother! I want violets! I want violets!
 Mother: OK, Horena. Marushika, go into the forest and find some violets!! NOW!!
 Marushika: But it is December. Violets don't grow in December. They grow in March.
 H and Mo: Go into the forest and find some violets, Marushika! NOW!!
 Marushika: Um . . . OK.

音声で慣れ親しんだ文字をさりげなく提示して、理解をサポートします。

■教科書掲載以外の絵も含む Story イラストカードを用意します。

<p>5年</p>	<p>北風と太陽(Lesson 1)</p>  <p>北風と太陽の力自慢。勝つのはどちらか。イソップ童話。</p>	<p>12の月のおくりもの(Lesson 3・4)</p>  <p>母と姉から無理難題を言われる少女を12か月の精が助ける。スロバキア民話。</p>	<p>幸福の王子(Lesson 6)</p>  <p>王子像が苦しんでいる人々に幸福を与える。オスカー・ワイルドの名作。</p>
<p>6年</p>	<p>ガリバー旅行記(Lesson 1)</p>  <p>ガリバーの冒険譚。ジョナサン・スウィフトの名作。</p>	<p>青い鳥(Lesson 3・4)</p>  <p>幸せの青い鳥をさがしに旅をする兄妹。メーテル・リンクの名作。</p>	<p>メリーさんの羊(Lesson 6)</p>  <p>メリーと羊のある日を描くストーリーじたての童謡。マザーグース。</p>

ダウン型

できます。

多少わからない語や表現があっても、イラストや場面、状況、わかるセリフなどをヒントに、意味を想像しながら聞いたり、読んだりする経験の積み重ねによって、子供たちは推測する力やあいまいさに耐える力を付けていきます(トップダウン型の学び →NOTE)。ボトムアップ型の学びとともに、こうした経験をしていくことで、確かなコミュニケーション力につなげていきます。

実世界の英語

- 教室の外で出会う英語に親しめます。
- 英語を使うことで、世界とつながれることを経験できます。

Lesson 2

実世界の英語 世界の標識 

①音声を聞いて、どの道路標識について話しているか、() に番号を書こう。

(a) 
()

(b) 
()

(c) 
()

(d) 
()

(e) 
()

(f) 
()

(g) 
()

(h) 
()

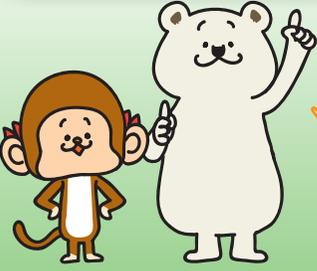
② (a)～(h) から標識を選んで、友だちにクイズを出そう。
 ヒント 色は何か？
 形は何か？
 どんな文字があるかな？

◆5年 p.29 世界の標識

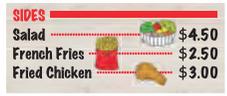
写真や図を見ながら、説明を聞き、話す活動につなげます。

★スクリプト

It is yellow. It is a diamond. You can see two children. It says "SCHOOL." S-C-H-O-O-L.



ボトムアップ型の活動と
 トップダウン型の活動の
 両方が大事なんだね。

5年	世界の標識 (Lesson 2)	
	メッセージカード (Lesson 5)	
	観光案内ポスター (Lesson 7)	
6年	国名の略語 (Lesson 2)	
	メニュー (Lesson 5)	
	本の表紙 (Lesson 7)	

NOTE

ボトムアップ型とトップダウン型

この冊子ではそれぞれ下記のような意味で用いています。

ボトムアップ型：表現や語彙などに学習の焦点をあて、それらをひとつひとつ確実に積み上げて英語の基礎力を育てる学びの型。

トップダウン型：一定量の英文に触れ、意味内容に焦点をあて、概要から詳細、わかることからそれ以外へ、学びの方向を向けながら英語の基礎力を育てる学びの型。

むりなく文字に親しめます。——「読む」

- スモールステップなので、むりなく書く活動に取り組みます。
- 音から文字へ、つながりに気づけるような工夫をしています。

STE

ローマ字から入り、既習の知識を生かす

ローマ字で自分の名前を書くことから始め、むりなく英語の文字の学習に入っていきます。

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	
n	wa	ra	ya	ma	ha	na	ta	sa	ka	a	あ
		ri		mi	hi	ni	chi	shi	ki	i	い
		ru	yu	mu	fu	nu	tsu	su	ku	u	う
		re		me	he	ne	te	se	ke	e	え
	(o)	ro	yo	mo	ho	no	to	so	ko	o	お

Lesson 1 ではさがしやすくと好評の50音図ベースのローマ字表を採用。

5年・6年の巻末には、切り取って使えるローマ字表を用意。(横組。裏面はアルファベット表)

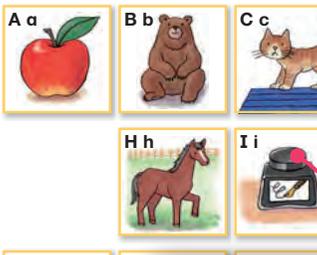
◆5年p.25

音と文字の結びつきへの気づきを促す工夫

5年Lesson 1と2で、アルファベットの文字と音のつながりに触れます。5年Lesson 3以降の各LessonのPart 1では、同じ音を持つ語を集めた **Sound Chant** を楽しみます。Part 2 **Enjoy Reading** には、**Sound Chant** で親しんだ音を持つ語をそっとしのばせています。ユーモラスなお話を聞いたり読んだりして楽しみながら、だんだんと文字と音のつながりに気づいていきます。

Let's Chant

リズムに合わせて言おう



◆5年p.34

チャンツに親しみながら、アルファベットの音読みに触れます。



◆5年pp.42-43 Sound Chant

同じ音を持つ語を集めてチャンツをします。



Sound Chant と同じ音を持つ単語が!

Enjoy Reading

どんなことが書かれているかな、読んでみよう。

Look at the pan.
It is big.
It is hot too.



◆5年p.45 Enjoy Reading

と「書く」



新学習指導要領は文字に関してはそれほど高い目標を定めていませんが、つい多い多くのものを求めてしまい、ともすればそれが英語ざらいをつくってしまう要因にもなります。『CROWN Jr.』では、①音を聞きながら文字を目にする機会を多く与える、②少しずつ段階を追う、③「書く」は自分の言いたいことを、の3つを心がけ、楽しく文字が学べるように配慮しました。

Lessonの終わりは「書くこと」をふくむまとめの活動

Write & Talk や **Write & Speak**、**Listen & Write** では、ターゲット表現を使って自己表現をします。必ず「書く」活動を入れて、まとめの活動としています。

Write & Speak わたしのヒーロー

①音声を聞いて、HeとSheのどちらかを4線に書こう。

(a) He is a teacher.

(b) She is a firefighter.

(c) is a nurse.

(d) is a police officer.

Lesson 3

②あなたのヒーローについて書こう。HeかSheは、どちらかを選んでなぞろう。

Word Bank

This is _____ (姓) (名)

He/She is my hero.

He/She is _____ (しよきぎょう)

姓と名、どちらも書こう。単語と単語の間は少し空けて書こう。

③あなたのヒーローをクラスの友だちに紹介しよう。

女優（じょゆう）はactressとも言いますが、最近男女ともactorを使うことが多くなっています。

表現する語句のサンプルは、原則として上または左に置き、書き写しやすいように配慮しました。

◆5年 pp.48-49

Write & Speakなどは、Lessonの「まとめ」の活動です。「書く」活動はターゲット表現に絞っているの、むりなく取り組みます。

随所に文字を提示

Panorama や Spotlight、**Story** などでは、積極的に文字を提示して、子供たちが「聞く」「話す」活動をするときにも、文字が目につくようにしています。その積み重ねが、「読む」活動、「書く」活動へと結びついていきます。



◆5年 p.43 Story



◆5年 p.41 Panorama

考える力、判断する力、表現する力を育



- 「主体的、対話的で深い学び」を実現する大単元のまとめの活動です。
- 「思考力、判断力、表現力」を見取るのに最適の小単元です。

グループでの活動を基本とし、主体的・協働的に学び合います。

同じ大単元内のSTEPで経験した表現を中心に、3年生から経験してきた表現の中から自分の思いを伝える表現を考えます。

JUMP 1

JUMP
Presentation 2

He is a music teacher.

JUMP 1 グループで先生にインタビューをしよう。

目的・場面・じょうぎょうを理解する → 見通しをもち、じゅんびする → コミュニケーション

考えよう

①先生のとくいなことを知るためにインタビューをします。グループで次のことを考えて、Goalに書こう。

- だれに聞く？
- どんなことを？

②英語の表現をおさらいしよう。

音楽の先生にインタビューをしたいな。
先生にどんなことを聞こうかな。

質問メモを用意しよう

①質問メモを作ろう。

- みんなが知りたいことはどんなことか、考えよう。

②メモをもとに、英語でどう言うかを考えよう。

Can you play baseball?

MEMO Keita
野球はできるかな

I am good at singing. How about you?

MEMO Shiho
singing

知ってる？ 先生のこと

- 先生にインタビューをして、わかったことを伝えよう。

Goal

リハーサルをしよう

①先生役を決めて、リハーサルをしよう。

- 聞きたいことを質問できましたか。

②もう一度やってみよう。

Hello.
May I ask you a question? Yes!

インタビューをしよう

先生にインタビューをしよう。

Tip! あいづちも大切！
あいづちを打てば、話はずみですね。

- ▷ Wow! (わあっ！)
- ▷ Really? (そうなんですか?)
- ▷ Great! (すごいですね！)

まとめとふりかえり

- Goalは達成できましたか。よかったところはどこですか。
- 先生にインタビューをするとき、質問の順番で、どんなふうをしましたか。
- JUMP 2では先生あてクイズを作ります。どんなふうをしたいですか。

◆5年pp.72-74

〈ペア・グループ〉→〈全体〉のsmallステップになっているので、子供たちもむりなく取り組みます。

使い方を動画でサポート

小社ウェブサイトでは、動画でJUMPを使った活動例を紹介しています。

実生活にダイレクトに結びつくタスク設定で、目的・場面・状況に応じて、思考力・判断力を働かせながら自己表現します。

てます。



6~8
時間
配当

聞こえてきた英文をリピートしたり、英文を音読して暗唱したりといった英語の学習だけでは本当のコミュニケーション力つきません。目的や場面を意識し、自分で話す内容や構成を考え、ときには調べたりしながら表現していく活動の積み重ねで、確かなコミュニケーション力をつけることができます。そのため学年に3つ配置された小単元、それがJUMPです。

JUMP1でできなかったことを修正してチャレンジします。クラスの友だちの姿から学んだことを活かすこともできます。

JUMP 2

JUMP2 先生あてクイズをして、先生のことを伝えよう。

Goal

- 情報を整理して、スリーヒントクイズを作ろう。どんなクイズを作りたいか、Goalに書こう。ヒントの順番を考えて、下のらんに入ろう。
- ヒントカードを作ろう。
- グループで練習をしよう。
- さあ本番。先生あてクイズをしよう。

Please listen.
Hint number 1.
He is good at cooking.
Hint number 2.
He can't eat *natto*.
Hint number 3.
He is a music teacher.
Who is he?

どんな順番でヒントを出すと、楽しいクイズにできるかな?

ヒント1 ヒント2 ヒント3

まとめとふりかえり

- HOP (39ページ) で立てた目標 (My Goal) は達成できましたか。
- 次は、どんなくふうをして活動したいですか。

74

指導書には、評価のためのルーブリック、活動がよりスムーズにできるワークシートを用意。

5年 Presentation 2

知識・技能	評価規準：He / She の意味や語法を理解して、He / She を用いた文構造を使うことができる。
	A ・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。
	B ・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。
	C ・He /She を使い分けて英語を話すことができない。
思考・判断・表現	評価規準：目的や場面、状況に応じて、先生を紹介するヒントを話すことができる。(先生を紹介するという目的、先生あてクイズという場面、インタビューしたことに基づいてクイズを作るという状況)
	A ・先生を紹介するという目的に応じて、インタビューしたことに基づいて情報を選んでヒントを作成し、ヒントの順番を工夫しながら話すことができる。
	B ・先生を紹介するという目的に応じて、インタビューしたことに基づいて情報を選んでヒントを話すことができる。
	C ・インタビューに基づいて先生のヒントクイズを話すことができない。
主体的に学習に取り組む態度	評価規準：他者を意識しながら、主体的に先生あてクイズを行っている。
	A ・聞き手を意識し、伝わっているかどうかを意識して、先生あてクイズを行っている。
	B ・クイズで取り上げる先生を尊重しながら、聞き手を意識して先生あてクイズを行っている。
	C ・クイズで取り上げる先生を尊重したり、聞き手を意識したりして先生あてクイズに取り組めない。

NOTE

パフォーマンス評価とルーブリック

パフォーマンス評価とは、評価したいと思う学力が直接的に表れるような課題に取り組みせ、子供の学力を「見える」ようにして評価することを言います。評価基準を観点と尺度からなる表として示したものがルーブリックで、パフォーマンス評価の際に用います。

◆5年 pp.48-49

JUMPは2回できるんだ。やり直しができるから「できた！」という実感を持ってそうだね。



授業展開例(HOP, STEP, JUMPの例)

想定する授業展開は、小单元ごとに基本パターンがありますので、指導される先生も学習する子供たちも、安心して活動に取り組むことができます。もちろん、地域や学校の実態に合わせて、独自の授業展開をすることも可能です。

HOP, STEP, JUMPともそれぞれ基本的な流れは同じだね。



HOP 1時間の流れ

時間	過程	活動の内容
5分	あいさつ	
10分	Task 1	練習なしで自力で課題に取り組みます。 
15分	Task 2	モデルの英語を聞きます。 JUMP のゴールイメージを確認します。 
10分	My Goal	STEP → JUMP で、何ができるようにしたいか、目標を立てます。 
5分	ふりかえり	

STEP 1時間の流れ

時間	過程	活動の内容
5分	あいさつ	
5分	チャンツ	チャンツを楽しみます。 
10分	ウォームアップ	パノラマを使ってスモールトークをします。 
12分	活動1 (ボトムアップ)	Spotlight でターゲット表現を確認し、それらを使って「聞く」「話す」の活動を行います。 
8分	活動2 (トップダウン)	物語を聞き、推測しながら内容理解します。 
5分	ふりかえり	

STEP 1レッスンの授業展開例

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	5 時間目	6 時間目
Sound Chant	Sound Chant	Word Chant	Word Chant	Chant	Chant
Panorama	Panorama	Panorama	Panorama	Panorama	Panorama
Spotlight	Spotlight	Spotlight	Spotlight	Spotlight	Spotlight
Listen & Talk	Talk to Friends				
Story	Story	Enjoy Reading	Enjoy Reading	Enjoy Listening	Write & Talk

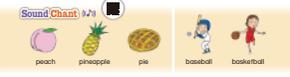
Panorama + Part 1

Panorama + Part 2

Panorama + Part 3
+ Write & Talk など

* 同じコーナーを2時間にまたがって扱うときは、1時間目と2時間目で段階を追って違う活動を行います。

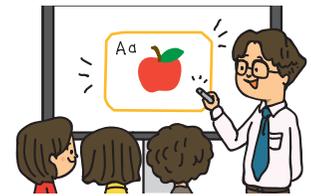
JUMP 4時間の流れ

使用する箇所	時間	過程	活動の内容
<p>Chant</p>  <p>Panorama</p>  <p>Listen & Talk</p>  <p>Story</p> 	1 時間目	目的・場面・状況の理解	<p>活動の目的・場面・状況を理解します。学んだ英語をふりかえります。</p>  <p>音楽の先生にインタビューをしたいな。先生にどんなことを聞こうかな。</p>
	2 時間目	見通し、準備	<p>だれに何を聞くかを話し合います。英語で何と言うか、メモを作ります。</p>  <p>Can you play baseball?</p> <p>MEMO Keita 野球はできるかな</p>
	3 時間目	準備(練習)	<p>グループでリハーサルをします。</p>  <p>Hello. May I ask you a question? Yes!</p>
	4 時間目	コミュニケーション活動	<p>本番の活動をします。</p>  <p>ふりかえりをします。</p>

授業を支えるさまざまな教材・教具・教授資料

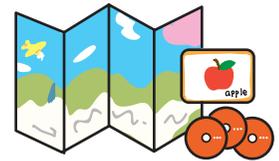
★デジタル教材

音声や画像、動画を提供して、授業を完全サポートします。



★ウォールチャート、CD、ピクチャーカード

大型モニターがない場合や、ダイナミックな動きをしたいときに使えます。



★ワークシート、ふりかえりシート

活動のスムーズな展開に役立つ「ワークシート」や、授業の最後に子供たちが記入し、評価に結び付けることができる「ふりかえりシート」も完備しています。



ポイント
3

子供の意欲を引き出し、

中学年では英語の歌を歌い、ゲームをし、
友だちとのやり取りを楽しんでいた子供たちも、
高学年になると知的なレベルが上がり、
楽しいだけではものたりなくなります。
子供が意欲的に英語の学びに向かうには、
楽しさに加えて、知的なおもしろさが必要です。

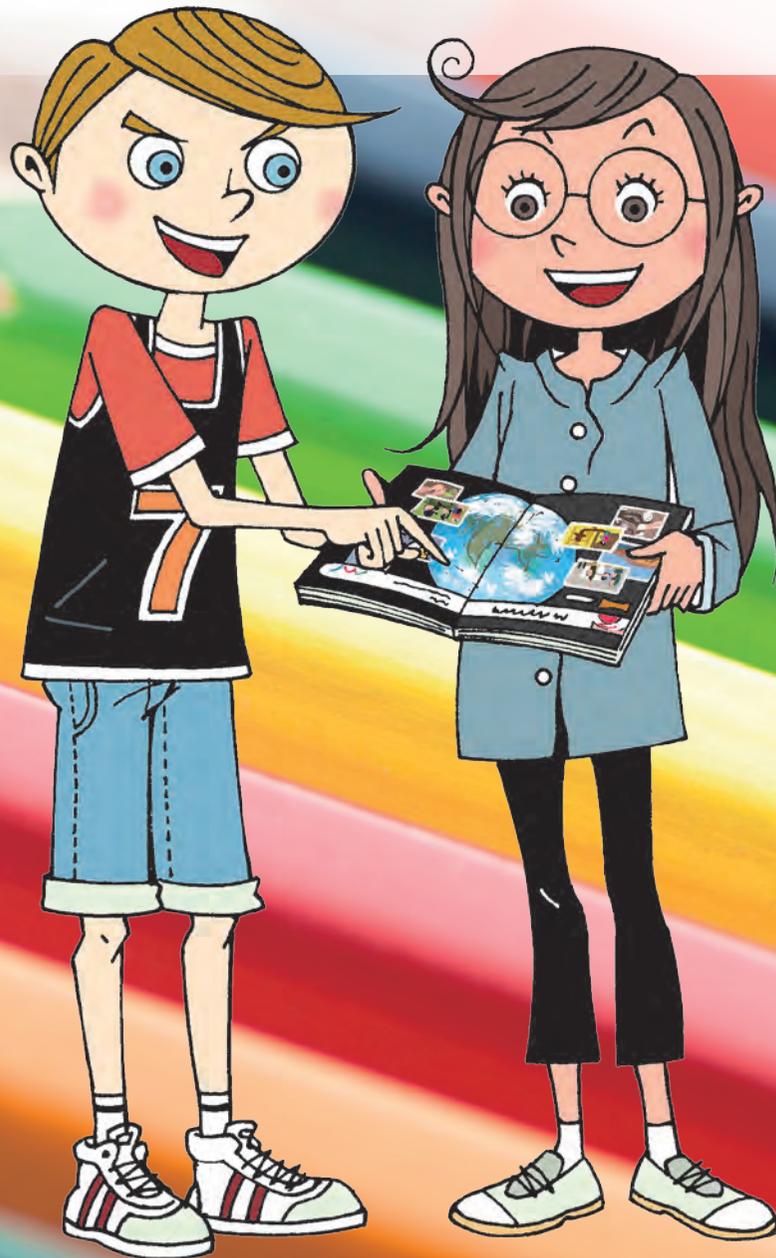
- 題材内容の知的レベルを上げ、高学年にふさわしいものとする
- 「わかるようになった」「できるようになった」という達成感を味わうこと

私たちは、これらのことも意識して、
『CROWN Jr.』を編集しました。

学びに向かう力を育てます。

ポイント 3-1 多様な題材で子どもたちの学ぶ意欲を高めます。

ポイント 3-2 充実した付録で自ら学ぶ力を育みます。



多様な題材で子供たちの学ぶ意欲を高め

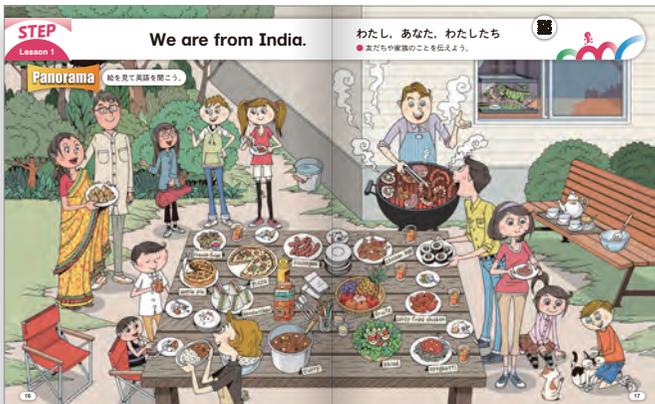
- 身近なもの、世界を広げるものなど、さまざまな題材を用意しました。
- カリキュラムマネジメントに配慮して、他教科との連携もできる題材を配置しました。

子供たちが楽しく学べます

「楽しく」は、英語の授業のキーワード。子供たちは、夢のある **Panorama** の絵や **Story** などに楽しさを感じ、もっと聞きたい、もっと知りたいという思いを募らせます。

Panorama

家庭



学校



◆6年 pp.16-17

◆5年 pp.62-63

Panorama では、学校や家庭、地域など、主に子供たちの生活場면을扱いました。

Story



◆5年 北風と太陽



◆6年 青い鳥

Story では、なじみのあるお話を扱い、ストーリー展開やセリフ回しのおもしろさを味わわせながら、子供たちを異世界へといざないます。

Try 買い物



Try では、「道案内」「買い物」など、生活に密着した場면을扱いました。

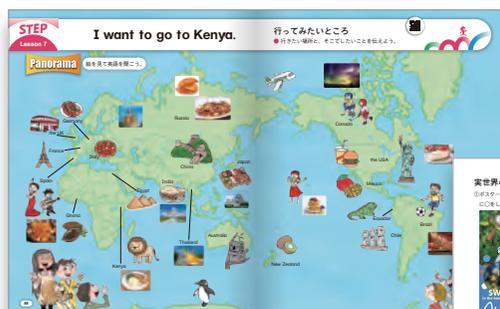
◆6年 pp.62-63

ます。

外国語の学びにとって内容、つまり題材の役割はとても重要です。コミュニケーションの意欲を引き出すのは題材の力です。『CROWN Jr.』は、高学年の子供たちが興味を持てるように、身近な話題からグローバルな話題まで、幅広く扱いました。

子供たちの世界を広げます

子供たちの世界を広げる題材を通して、広くことばに関心を持ち、どんな言語であれ、相手がだれであれ、相手を意識しながら、他と関わろうとする心を育てることを目指しました。



◆5年pp.88-89



◆5年p.91

世界に目を向けられるような題材を扱いました。



◆6年pp.88-89

6年Lesson 7では、自文化の発信、他文化の尊重、共生の題材を扱いました。

他教科につながる題材も随所に配置しました

他の教科につながる内容を扱うことで、自分が学んだことが英語という違った学びの場面で活かすことに気づきます。多様な見方を体験することで学びを深められ、子供たちの知的好奇心が高まります。

社会科

日本紹介

- 「日本のここ、おすすめ！」
(5年Presentation 3)
- 「日本、大発見」(5年付録)
など



道徳・総合

キャリア教育

- 「なりたいものは、何？」(6年Lesson 6)
- 「20年後のわたしはきっと…」
(6年Presentation 3)
など



国語科

ことば

- ローマ字(5年Lesson 1)
- 語順(6年Lesson 1)
- 外来語(5年付録)



充実した付録で自ら学ぶ力を育みます。

- 自律的な学習者*の育成に役立つよう、豊富な付録を用意しました。
- 授業の中や自学自習の場面で、子供の学びをサポートします。

表現をサポートする

カテゴリーごとにまとめられた **Words & Phrases** (語句リスト) やコミュニケーション上でのヒントで、子供たちの「自分のことを伝えたい!」をサポートします。

Words & Phrases

職業 jobs → 44ページ②, 49ページ②



actor	astronaut	baker	bus driver	captain	carpenter
cartoonist	cook	doctor	farmer	fire fighter	florist
hero	king	magician	nurse	photographer	pilot
police officer	queen	singer	storekeeper	teacher	zookeeper

デジタル機器
などを使って
音声が届けま
す。

教室で使う英語

活動を終えるとき

Are you finished? Yes. Not yet. Time's up. / Stop.

● 友だちや先生とのやりとり

あいさつするとき

Hi. Hello. How are you? I'm fine. Are you ready? Yes.

英語の言い方をたずねるとき

What's this in English? It's a notebook.

自分からすすんでやると言うとき

Any volunteers? I'll do it!

◆5年p.13

◆5年p.118

世界を広げる

ことばや文化に関する各種コラムで、英語を学ぶことの意味やおもしろさへの気づきを促します。

英語が話されている国ぐに

● 英語はどこで話されている?
下の図では、いろいろな国が3つのグループに分けられています。

Aグループ
アメリカ
カナダ
イギリス
オーストラリア
など

Bグループ
インド
シンガポール
フィリピン
ケニア
など

Cグループ
日本 中国
韓国 ドイツ
フランス
フィンランド
など

ほかの出身のアメリカはAグループだよ。
オーストラリアもAグループだね。
日本も中国もBグループだね。
インドはBグループだ。グループのちがいはなんだろ。

◆5年p.110

世界のまつり

● 世界には、さまざまなまつりがあります。人は、まつりをどのように楽しんでいるのでしょうか。

◆ベネチア・カーニバル 2月-3月 イタリア (ベネチア)

まつりの時、ベネチア市民は仮面や衣装を装った人々で賑わいます。パレードや仮面コンクールなどのイベントももたらされて、毎年たくさんの観光客が訪れます。

◆ゴロカショー 9月*バブアニューギニア (ゴロカ)

国中のおよそ80の部族が集まります。部族ごとに伝統的なダンスや音楽、衣装を着ておどり、自分たちの文化のユニークさや、はなやかさを競い合います。

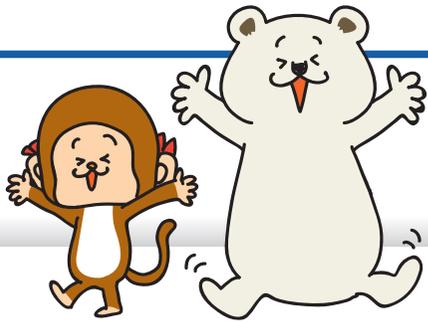
◆ロイクラトン祭り 11月*タイ

満月の夜、豊かになりもたらす川に灯籠を流すのが伝統的な祭りの楽しみ方です。クラトンとは、ぼろぼろの紙や布を川に流したり、川面に浮かべたりして、川に流すお祈りの灯籠を流すことです。

◆6年p.36

各学年のコラム

- 5年
- この日本語、どこから来たの?
 - 英語が話されている国ぐに
- 6年
- 世界のまつり
 - 「ことば」のおはなし
 - 世界の小学校



CROWN Jr.は、子供たちが個々の目的に応じて積極的に教科書を使い、ことばや文化について自分で調べたり、自分の学びを調整したりしながら、自ら学ぶ力を育てるように多彩な付録を用意しました。

会話を続けるくふう

①リアクションをする
あいづちを打ったり、くり返したりして反応しましょう。相手は「聞いてくれている」と安心できます。

I like soccer.
Oh.
Really?
Soccer? Me, too.

②考える時間がほしいとき
言いたいことがすぐに出てこない場合は、だまっていないで、umやwellなどと言って考えましょう。

What sports do you like?
Um...
Well...

③ひとこと加える
聞かれたことに短く答えて、さらにひとこと付け加えることで話題が広がります。

Do you like soccer?
Yes.
I play soccer every day.

④質問する
質問することは、相手の話に興味がある、というしるしです。

I like soccer.
Cool.
Can you run fast?

◆6年p.14

自律的な学びを促す

自分の学びをふりかえるCAN-DOリストや表現のまとめのページを設けました。

CAN-DO リスト 英語でこんなことができた!

自分の力でできた、先生や友達からの力を借りながらできた、主語に○をしよう

Panorama: 身の回りのことについて話される英語の内容がわかった。

Story: 英語で話される物語も、イラストを見ながら聴くことができました。

System & Talk / Talk to Friends: 身の回りのことについて、先生や友達と英語で伝え合ったり、質問したり答えたりすることができました。

System & Talk / Talk to Friends: 授業の夢について、先生や友達と英語で伝え合ったり、質問したり答えたりすることができました。

Happy Readings: 書かれた英語を声に出して読むことができました。

JUMP: 書かれた英語を見て、単語がわかることが増えた。

JUMP: 小学校の思い出を紹介することができました。

JUMP: 言葉を見ながら、自分のことを紹介する英語を書けるようになった。

JUMP: 言葉の夢を話すことができた。

JUMP: 学校や町などを紹介することができた。

101

◆6年p.101

5年生で学習した主な表現

I have ten yo-yos. (1.1 物々)

I like dogs. (1.1 物々)

I can't cook rice. I can't cut vegetables. I can eat curry and rice. (1.2 できごと)

My birthday is on April 22nd. (1.1 日、月、年)

This is Miho. She is my sister. (1.3 関係者)

This is Katie. She can play the piano. She is good at singing. (1.3 関係者)

I usually get up at 6:00. I play soccer on Tuesdays. (1.4 日、時間)

Shuri Castle is in Okinawa. (1.6 場所)

I want to go to Brazil. (1.7 国)

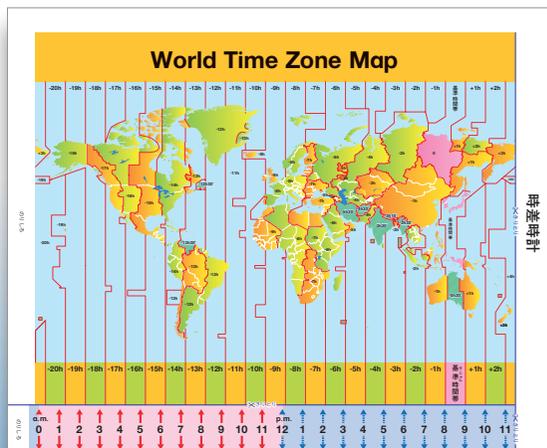
これだけのことが言えるようになったよ。

128

◆5年p.128

活動を豊かにする

巻末には切り離して使える厚紙の別紙付録を豊富に用意しました。



◆5年付録「時差時計」

各学年の別紙付録

5年

- 日本語のローマ字表・アルファベット表
- アルファベットカード
- 時差時計

6年

- アルファベット表・日本語のローマ字表
- Memory Book 台紙
- 絵日記台紙
- プロフィールカード台紙／お助け表現集

その他のさまざまな工夫

●ことばへの気づき

語順、音声、文字などについて、気づきが起こりやすい箇所に、ことばの気づきのヒントを活動や脚注に入れていきます。

語順への気づき



活動の紙面の工夫で気づきを促します。

音声への気づき



◆5年 p.42

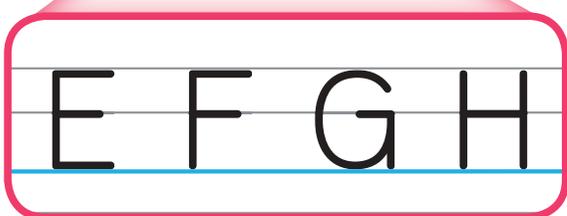
脚注*で気づきを促します。

*脚注には、「英語についての情報」のほか、「題材についての情報」「他教科との関連についての情報」など補足情報を提供し、学習をサポートします。

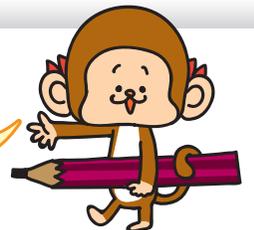
◆6年 p.24

●専用の手書き文字書体と4線

子供の手本となる手書き文字書体を開発・使用しています。読みの活動用の書体は、中学校で主として使用しているものを使用し、連携を図りました。



これは
書きやすい!



4線の間隔は、小社の入門期指導のノウハウから開発された幅で、大文字・小文字がきれいに書けるようにしました。

教師用指導書で専用手書き文字書体のデータを提供します。通常の手書体に加え、4線付きの手書体データもあるので、教材づくりに役立ちます。

手書きフォント

E e

手書きフォント(4線つき)

E e

●英語で言えるかな

各学年の冒頭には「英語で言えるかな」を配置して、学年間のつながりを持たせています。前学年までに経験してきた表現や語句について、活動を通しておさらいすることができます。学年の初めの授業や言語活動に入る前の準備などに使うことができます。



◆5年 p.8



◆6年 p.8

●子供たちと英語を学んでいく仲間たち

子供が感情移入できるように、メインキャラクターを設定しました。グローバルな視点を育成する観点から、出身国は、国際色豊かなものになるように配慮しました。



Jun ジュン
(日本)



Yumi ユミ
(日本)



Tanya ターニャ
(インド)



Katie ケイティ
(オーストラリア)



Ming ミン
(中国)



Nick ニック
(アメリカ)

●QRコード

随所に配置しているQRコードをデジタル機器(タブレットやスマートフォンなど)で読み込めば、それぞれの箇所の単語や文の音声を開くことができます。



家で英語の音声を聞くことができるね。パノラマは音の出る絵辞典になるよ。

『Let's Try!』/『We Can!』/中学校との連携

●外国語活動との連携

- 5年冒頭の「英語で言えるかな」では、『Let's Try!』で経験してきた語彙や表現について、活動を通して振り返ります。
- 『Let's Try!』で経験した言語材料は、『CROWN Jr.』でも繰り返し扱います。

LT=Let's Try!

《主な表現》

LT	Unit	主な表現	『CROWN Jr.』で扱っている箇所の一例
1	1	Hello. Hi. I'm (Hinata). など	5年 教室で使う英語 / Lesson 1
	2	How are you? I'm (happy).	5年 英語で言えるかな
	3	How many (apples)? (Ten) (apples). など	5年 英語で言えるかな / Lesson 1
	4	I like (blue). Do you like (blue)? など	
	5	What do you like? I like (tennis). など	
	6	(The "A" card), please. Here you are. など	5年 Lesson 1
	7	What do you want? (A star), please. など	5年 英語で言えるかな / Lesson 1
	8	What's this? It's (a melon). など	5年 英語で言えるかな / Lesson 6
	9	Are you (a dog)? Yes, I am. / No, I'm not. など	6年 Lesson 4 (Enjoy Reading)
2	1	Hello. Good morning. I like (strawberries). など	5年 世界のあいさつ / Lesson 1
	2	How's the weather? It's sunny. Stand up. など	5年 英語で言えるかな
	3	What day is it? It's (Monday). など	
	4	What time is it? It's (8:30). など	
	5	Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. など	5年 Lesson 1
	6	What's this? Hint, please. How many letters? など	5年 英語で言えるかな
	7	What do you want? I want (potatoes), please. など	
	8	Go straight. Turn [right / left]. Stop. など	
	9	I wake up (at 6:00). など	5年 Lesson 4 / 6年 英語で言えるかな

《主な語句》 身の回りのもの、飲食物、色、数、形、スポーツ、状態・気持ち、動物、天気、動作、曜日など…5年 英語で言えるかな / Lesson 1
数字、日課・時間など…5年 Lesson 4 / 6年 英語で言えるかな

●『We Can!』との関係

- 『We Can!』から『CROWN Jr.』にスムーズに移行できるよう、言語活動や言語材料の配置に留意しました。

We Can! 1	We Can! 2	CROWN Jr. 5年	CROWN Jr. 6年
Unit 1 アルファベット・自己紹介	Unit 1 自己紹介	Lesson 1 自己紹介	Lesson 1 友だちや家族
Unit 2 行事・誕生日	Unit 2 日本の文化	Lesson 2 できること・とくいなこと (Presentation 1 自己紹介)	Lesson 2 行事や文化 (Presentation 1 学校紹介)
Unit 3 学校生活・教科・職業	Unit 3 人物紹介	Lesson 3 友だちや家族の紹介	Lesson 3 夏休みにしたこと
Unit 4 一日の生活	Unit 4 自分たちの町・地域	Lesson 4 一日にすることとその時間	Lesson 4 ものの様子や特徴
Unit 5 できること	Unit 5 夏休みの思い出	Lesson 5 ふだんよくすること (Presentation 2 先生紹介)	Lesson 5 現在の状態と過去の状態 (Presentation 2 思い出紹介)
Unit 6 行ってみたい国や地域	Unit 6 オリンピック・パラリンピック	Lesson 6 位置や場所	Lesson 6 つきたい職業
Unit 7 位置と場所	Unit 7 小学校生活・思い出	Lesson 7 行きたい国 (Presentation 3 おすすめの場所・こと・もの)	Lesson 7 日本の文化・他国の文化 (Presentation 3 将来の夢)
Unit 8 料理・値段	Unit 8 将来の夢・職業		
Unit 9 あこがれの人	Unit 9 中学校生活・部活動		

●中学校との連携

- 中学校の外国語科に接続するために、下記の点に留意しました。

- ①中学校でおこなわれることの多い、プロジェクト型の言語活動につながるよう、**JUMP**の手順を工夫しました。
- ②読みが中心となる活動では、中学校の入門期(1年生)で多用される初学者用書体を使用しています。

評価の考え方

新学習指導要領においては、すべての教科を3つの観点で評価することになっています。

評価に関しては、教師用指導書やウェブサイトでさまざまな資料を提供し、先生方をサポートいたします。

<p>評価の観点</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ●英語と日本語との違いへの気づきを評価 ●実際のコミュニケーションにおいて活用できる4技能5領域の基礎的な技能を評価 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を評価 	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びを把握して、目標を設定したり、学習の見通しを立てたりするなどの児童の主体的な取り組みを評価 					
<p>多様な評価のタイミング</p>	<p>授業の中で</p> <ol style="list-style-type: none"> ① STEPの最後で ② JUMPで 	<p>HOP - STEP - JUMP の大単元を通して</p>	<p>学年ごとに</p>					
<p>考えられる評価方法</p>	<p>授業の中で</p> <p>授業観察</p> 	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童のふりかえり 作品 ワークシート 	<p>テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト パフォーマンステスト 					
<p>教師用指導書・ウェブサイトなど</p> <p>「CROWN Jr.」 の評価資料</p>	<p>評価計画・評価規準</p> <p>■年間指導計画 ■単元の評価規準 ■活動のルーブリック</p> <p>5年 Presentation 2</p> <p>評価規準：He / She の意味や語法を理解して、He / She を用いた文構造を使うことができる。</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>・He / She を使い分けて英語を話すことができない。</td> </tr> </table> <p>評価規準：目的や場面、状況に応じて、先生を紹介するヒントを話すことが</p>	A	・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。	B	・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。	C	・He / She を使い分けて英語を話すことができない。	<p>評価資料</p> <p>■ワークシート</p>  <p>冊子とデータ形式（指導書付属CD-ROM）で提供いたします。</p>
A	・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。							
B	・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。							
C	・He / She を使い分けて英語を話すことができない。							

教科書Q&A

Q 『CROWN Jr.』では、語彙はどのようなものが選ばれていますか。

A 学習指導要領解説では語彙について、「児童の発達の段階に応じて、聞いたり読んだりすることを通して意味が理解できるように指導すべき語彙(受容語彙)と、話したり書いたりして表現できるように指導すべき語彙(発信語彙)とがある」と書かれています。主語 I や基本的な動詞 like, have など、すべての子供が自己表現で使う語彙が発信語彙です。一方、Aさんにとっては自分を伝えるために重要な語(発信語彙)だけれど、BさんにとってはAさんが言っていることを理解できればよいという語もあります。この場合、この語はBさんにとっては受容語彙です。たとえば自分の誕生日を伝えるとき、12の月のうち自分の誕生月1語が発信語彙で、残りの11の月は聞いてわかる、というようなことです。『CROWN Jr.』では、音声で聞くものも含め660語程度を子供の発信語彙の「総体」として決めました。語の選択にあたっては、『Let's Try!』『We Can!』を参考にしました。教科書巻末 Words & Phrasesの語は、660語の中からイラストにできる語、言語活動に資する語という観点で選択しています。

Q Small Talkはどこでやりますか。

A 『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』では、Small Talkは「あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすること」で、Small Talkをする主な目的は「既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図る」こと、「対話を続けるための基本的な表現の定着を図る」ことと書かれています。『CROWN Jr.』では、Panorama、Listen & Talk、Talk to Friendsなど、さまざまなコーナーでSmall Talkをしていただけます。また、6年生の教科書巻頭には、対話を続ける便利な表現をまとめた「会話を続けるくふう」を掲載しています。

Q ALTや専科教員がいなくても授業はできますか。

A 『教師用指導書』や『指導者用デジタル教科書(教材)』には、担任の先生が指導をする際に参考になる資料(指導案、Teacher Talkの例、補充活動案、各種ワークシートなど)や音声を豊富に収録しています。特に『指導者用デジタル教科書(教材)』は授業をスムーズに進められるための機能をたくさん搭載していますので、担任の先生おひとりでも豊かな授業をおこなっていただけます。

Q 書体はどのようなものを使用していますか。

A 主に使用している書体はCJ GothicとNC Gothicです。CJ Gothicは書き写しの見本用書体で、書く活動が中心となるコーナーで使用しています。NC Gothicは読む活動が中心となるコーナーで使用していますが、子供たちが混乱しないように、手書き文字に似せた形にしています。NC Gothicは中学校の教科書でも使用しており、小中のゆるやかな接続を助けます。上記2種類以外にも、楽しみながら英語の文字に触れられるよう、コーナーロゴなどに数種類のフォントを使用しています。

小社ウェブサイトのQ&Aコーナーでは、上記内容を含め、『CROWN Jr.』をより深くご理解いただくための情報を提供しております。

2020年度版 小学校英語教科書ウェブサイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>

人と環境にやさしい教科書づくり

年齢・性別といった差異、障害の有無や能力を問わず、すべての人が利用可能であるように、『CROWN Jr.』はユニバーサルデザインに配慮しています。

また、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙と植物油インキを使用しています。

●特別支援教育への配慮

特別に支援が必要な子供はもちろん、すべての子供たちが混乱せずに学べる内容・紙面になるように配慮しました。

- 学習のねらいがすぐわかるように、各ページ、各コーナーの役割を明確にしました。
- どこに何があるかが一目でわかるように、紙面構成を一定にしました。
- その時間に必要な内容を見開きに収め、文字や図版が見やすい紙面になるように、判型は大判(AB判)を採用しました。
- 情報を的確につかめるように、囲みや罫線などを工夫しました。
- 書く活動のページでは、書き写しやすいように、モデルとなる語は書く欄の上、または左側に配置しました。
- 読みやすいオリジナルの書体を使用しています。

②あなたのヒーローについて書こう。HeかSheは、どちらかを選んでねぞう。



This is _____
(姓) (名)
He/She is my hero.
He/She is _____

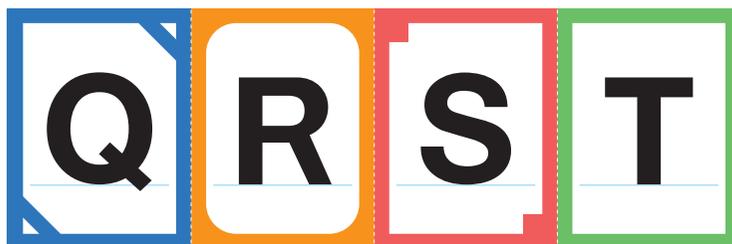
Word Bank を書く欄の上に配置。鉛筆を持つ手の位置はそのまま、書き写しのモデルを確認できます。

[校閲：笹森洋樹(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)]

●カラーユニバーサルデザインへの配慮

活動や、それにとともなうイラストや図版などの情報は、色の見え方の違いによって有利不利の差が出ないように配慮しています。

- だれにでも見やすい紙面になるように、配色に配慮しました。
- それぞれのパーツが明確に識別できるように、色の濃淡に配慮しました。
- 色だけが識別の手がかりにならないように、図版には形や記号・番号、文字などで補足しました。



枠線の形でも区別することができるアルファベットカード

[校閲：溝上陽子(千葉大学)]

授業を支える充実の指導書・教材

ていねいでわかりやすい教師用指導書や教科書準拠の教材を用意し、先生がたの授業づくりをサポートします。

● 指導書 (Teacher's Manual)

解説編	『CROWN Jr.』の編集方針、各コーナーの構成と使い方、年間指導計画などの総論のほか、単元ごとに目標、評価規準、授業展開例、詳しい解説、Teacher Talk のサンプルなどを掲載しています。
Teacher's Book (朱書)	教師用指導書のエッセンスを抜粋。教科書紙面の縮刷版を中央に、ねらい、指導の流れ、指導上の留意点、音声スクリプト、Teacher Talk などをコンパクトにまとめました。QR コードや指導者用デジタル教科書(教材)で聞くことができる語句の情報も掲載しています。
ワークシート集	コピーして使えるワークシート集。補助プリントとして子供の「読む」「書く」活動を支えるほか、評価資料として使用可能な「ふりかえりシート」も掲載。指導用 CD-ROM には、カスタマイズ可能な Word データを含む、全シートのデータを収録しています。
ALT 用指導書	ねらい、指導手順、指導のポイント、Teacher Talk などを英文で提供。ALT とのチームティーチングの準備を効率よく進めることができます。
評価資料集	評価についての考え方、評価のタイミング、評価方法、評価規準、パフォーマンステストのルーブリックなど、評価に役立つ資料を提案しています。
指導用 CD-ROM	指導案、ワークシート (PDF/Word)、音声スクリプト、イラスト・図版、ピクチャーカード、書体 (CJ Gothic/CJ Gothic Line (4 線付き書体) /NC Gothic) などのデータを収録。
投影用 教科書紙面データ (Windows)	教室での投影用にもご利用いただける教科書の紙面データと一部の音声 (指導用の音声は含まれません) を収録。5 台までインストール可能なライセンスを付与。

● 指導用教材

指導用 CD	Listen & Talk / Story / 実世界の英語 / Enjoy Reading / Enjoy Listening / Sound Chant / Word Chant / Talk to Friends / Try など、教科書の活動の音声ほか、Teacher Talk のサンプルなどを収録。
ピクチャーカード	A4 判、横置き絵カード。イラストと文字を配置。
Story イラストカード	Story のイラストを A3 判に拡大。The Twelve Months (5 年生)、The Blue Bird (6 年生) は補充イラストも収録。
ウォールチャート	各レッスンの Panorama イラストを B1 判 (728 × 1,030mm) に拡大。子供たちの顔をあげさせ、視線を集中させて活動を進めることができます。
ピクチャーカード 小型版	ピクチャーカードのトランプサイズ版。Go Fish、カルタあそび、神経衰弱、語順ゲームなど、さまざまな活動で利用できます。

* Teacher's Book (朱書) は、別売もいたします。

* 編集のため、仕様や内容、構成は変更する場合もあることをご確認ください。

Teacher's Book (朱書)

指導に必要な情報をコンパクトにまとめ、教科書紙面とともに示しています。

ねらい、指導の流れ、指導上の留意点、音声スクリプト、Teacher Talkの例などを提供しています。



QRコードや指導者用デジタル教科書(教材)で音声を提供している語句

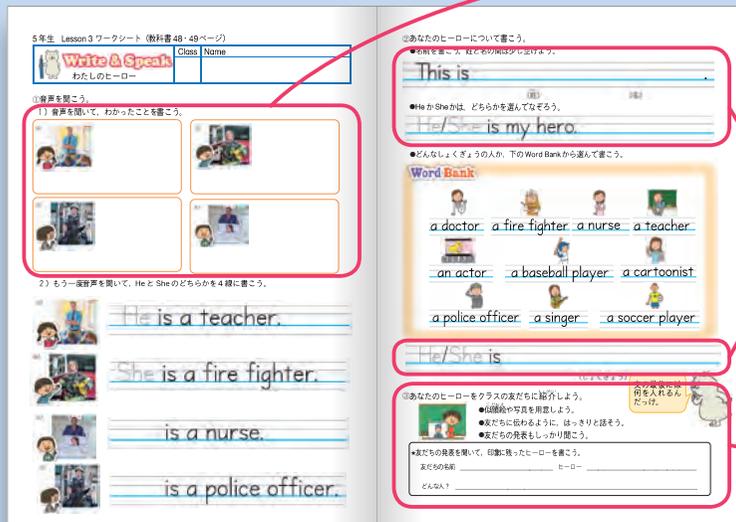
※文字はパンタミで読み取られています



Panoramaは通常の解説ページに加え、QRコードや指導者用デジタル教科書(教材)で提供する音声情報を示すページを設けました。パノラマを絵辞典として使用する際、どのイラストからどんな音が聞けるか一目瞭然です。

ワークシート集

活動を補助するワークシートを用意しています。授業がスムーズに進められるとともに、子供一人ひとりに応じた指導や評価を支援します。



教科書上のタスクを、細かな指導手順にしたがって分解、前後を補うタスクが紙面化されているので、スモールステップをふんで活動を進めることができます。ここでは、聞き取ったことをメモしたり、わかったことを書く欄を設けています。

英語を書くスペースは教科書紙面と同じものを掲載。書き写ししやすいように適宜レイアウトし直しています。

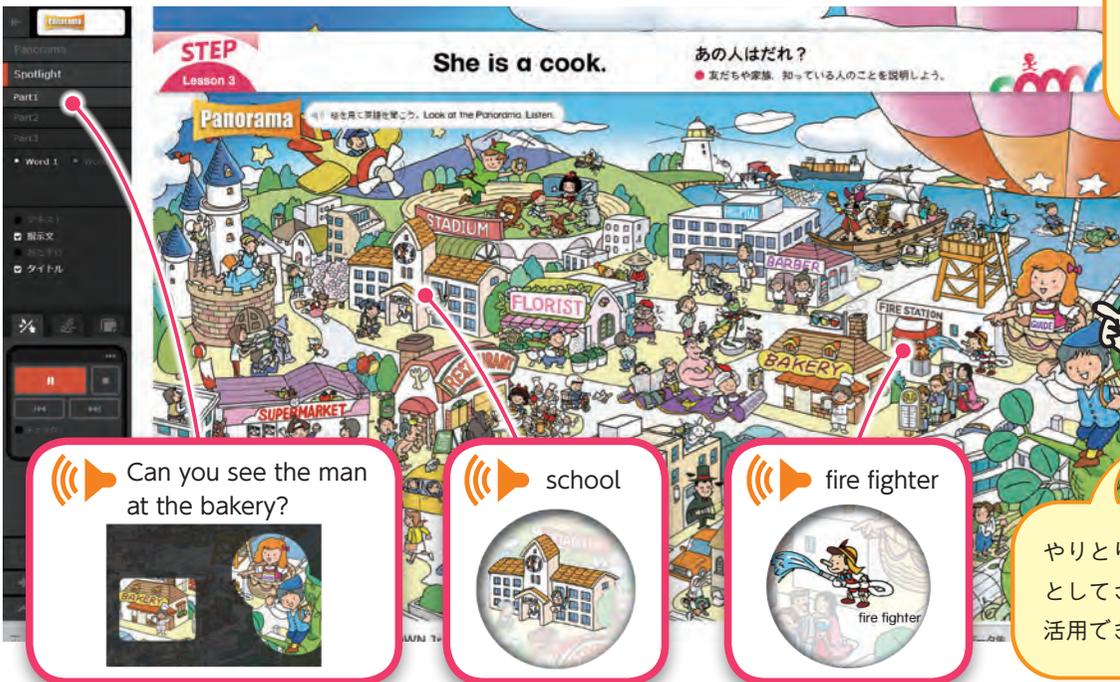
活動の際の留意点、友だちの発表を書き留める欄などを加えています。子供たちにとってのアイデアボックス、また教師にとっては評価資料として使うことができます。

CROWN Jr. 指導者用デジタル教科書(教材)

豊富な音声と動画で、楽しく充実した活動をサポートします。

- ・ 音声はボタンひとつで簡単に再生できます。Teacher Talkの例も豊富に用意しました。
- ・ イラストをタッチすると単語の音声を聞くことができます。
- ・ 音声に合わせてイラストを強調する「効果」で理解を助けることができます。

パノラマではたくさんの単語の音声聞けるんだね。どんな英語がかくれているかな。どんどんタッチして、聞きたいかな。



やりとりの素材や絵辞典としてさまざまな場面で活用できそう！

Can you see the man at the bakery?

school

fire fighter

主な収録コンテンツ

○音声収録箇所

- ・ Panorama (Teacher Talk・会話・単語)
- ・ Listen & Talk/Story/実世界の英語/Enjoy Reading/Enjoy Listening/Talk to Friends/Try/Write & Speak/Words & Phrasesほか
- ・ Sound Chant/Word Chant (リズム音とアニメーション付きのチャンツ)

○やり取りや発表などのモデル動画/外国の生活や文化などの資料動画

○教科書紙面/指導資料データ集(ワークシート・ふりかえりシートほか)

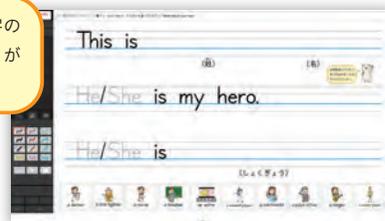
○ピクチャーカード/お道具箱(歌・文字指導教材・音韻認識教材ほか)

○授業ツール(タイマー・4線シート・Classroom Englishほか)/辞書(教員用)

基本機能

音声再生/書き込み/マスク/拡大縮小/成果物の保存・書き出し・読み込み/授業プラン・紙面ビュー

ペンを使えば文字の書き方を示すことができるんだ。



Listen & Talk

活動ごとに音声付きのスライドを準備。補充活動もイラスト・音声付きで提供



Sound Chant

リズムに乗って楽しく慣れ親しむことができます。



体験版をぜひご覧ください！

CD-ROMまたはWEBからダウンロード ▼

CROWN Jr. 特設サイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>



●シンプルな操作で軽快に授業を進められます。

- ・先生用の操作ボタンをサイドにまとめ、操作に迷うことなくテンポの良い授業が展開できます。
- ・操作エリアをグレートーンでまとめ、イラスト付近にボタンを置かないことで子供の注意をそらさないよう配慮をしました。

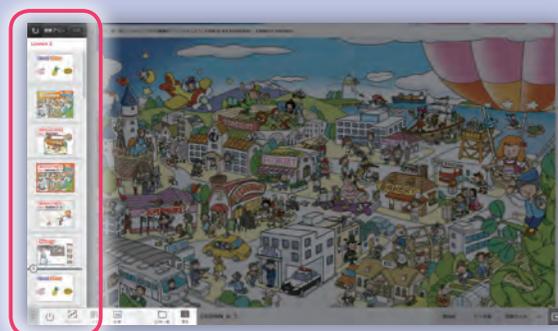
子供たちに見てほしいエリア



先生が操作するエリア

●授業展開例と連携した「授業プラン」モードで授業の組み立てを強力にサポートします。

- ・パワーポイントのように画面を送っていくだけで、指導書の授業展開例にそった授業を進めることができます。



ここのスライドをクリックすれば、すぐに次の活動に移動できるよ！

●先生方の「もっと!」「これも!」に応えます。

- ・ワークシートやWords & Phrasesの印刷など、授業準備もこれ一台で簡単便利におこなえます。



- ・教科書の活動や指導書掲載の補充活動はもちろん、自作の教材も追加してカスタマイズが可能です。カスタマイズ後の「授業プラン」は保存しておくことができます。

追加したいスライドをドラッグ&ドロップして保存すれば準備完了！



□ラインナップ

CROWN Jr. 指導者用デジタル教科書(教材) 各学年 Windows版/iPad版

※Windows版とiPad版は別の商品です。 ※学習者用デジタル教科書/学習者用デジタル教材もリリース予定です。

□動作環境

Windows 7/8.1/10 iOS12以降

□販売方式

教科書使用期間ライセンス/年間ライセンス

□プラットフォーム

 ことまな

※三省堂のデジタルコンテンツを提供する新しいプラットフォームです。

操作性を重視したビューアと、ご採用校専用のサポートサイトを提供いたします。

指導・学習内容一覧 5年

太字=新出現

月	コーナー	■題材・場面 ★主な活動	児童が発話する主な表現	主な発信語彙・受容語彙	L	R	S (I)	S (P)	W	配当時間	
4月	英語で言えるかな	★4年生までに経験した語句・表現を確認する。			●		●			(1)	
	HOP Get Ready 1	Hello! よろしくね! (ねらい) 今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しをもつ。			●			●		1	
5月		★今の自分の力でできる自己紹介をする。★どんな自己紹介ができるようになりたいか目標を立てる。			●			●		6	
	STEP Lesson 1	I have many yo-yos. わたしのコレクション (ねらい) 誕生日や持ち物、好きなことを伝える。[自己紹介]									
	Panorama	■凧の部屋			●						
	Listen & Talk	★持っているもの、好きな飲食物、誕生日とほしいものを伝え合う。	I have [don't have] Do you have . . . ? I like [don't like] Do you like . . . ? My birthday is in 月. My birthday is on 月日. My name is I am Nice to meet you.	【主な発信語彙】 a / am / do / don't / have / I / is / it / like / my birthday / my name / no / on / yes / 数 (復習) / for / the / very much / want / you / 形容詞 (big, happy, new, nice など) / スポーツ / 月 / 序数 / 動物 / 文房具 / 身の回りのもの / 家族 / 飲食物 【主な受容語彙】 about / can / for / how many / this / to / too / what / when / your / sport / 動詞	●			○			
	Enjoy Listening	★自己紹介を聞いて概要をとらえる。			●						
	Talk to Friends	★ペアで自己紹介をする。			○	●					
	Story	■「北風と太陽」 ★イラストを見ながら音声を聞いて概要をとらえる。			●						
Chant	■SC: アルファベット ■WC: 12の月	○									
Alphabet	★大文字と小文字を識別し、名前読みする。 ★Go Fishをする。	○			●		○				
Write & Talk	★名前をローマ字で書き、自己紹介する。							●	●		
STEP Lesson 2	I can jump high. こんなこと、できる? (ねらい) できること、とくいなことを伝える。[できること・とくいなこと]										
6月	Panorama	■レジャーランド			●					6	
	Listen & Talk	★動物になったつもりで、できること、できないことを言う。 ★先生や友だちと、できることを尋ね合う。	I can I can't Can you . . . ? Yes, I can. / No, I can't. I like How about you?	【主な発信語彙】 I / can / can't / like / no / yes / you / 動詞 (climb, cook, cut, dance, eat, fly, jump, jump rope, make, play, read, ride, run, sing, ski, swim, touch, walk, write など) / 動物 / スポーツ / 遊び / 楽器 / 副詞 【主な受容語彙】 飲食物	●						
	Enjoy Listening	★canを含む自己紹介を聞いて概要をとらえる。			●						
	Talk to Friends	★ペアで自己紹介をする。			○						
	実世界の英語	■世界の道路標識 ★色、形、書かれている文字について聞く。★標識当てクイズをする。			●				●		
	Chant	■SC: アルファベット・アブクド読み ■WC: canに続く動詞			○						
Alphabet	■アルファベット・名前読み	○			●						
Let's Chant	■アルファベットのアブクド読みをする。	○									
7月	JUMP This is me. 自己紹介、聞いて! (ねらい) クラスの友だちや先生に、自分のことを伝える。[自己紹介]									6 (7)	
	JUMP 1	★クラスの友だちに自己紹介する。	Lesson 1~2の言語材料 (中学年の言語材料を含む)	【主な発信語彙】 can / can't / have / I / like / my birthday / my name / on / 月 / 序数 / 動詞ほか	○			●	●		
	JUMP 2	★グループで、先生に自己紹介する。									
9月	HOP Get Ready 2	Hello, Mr. Sano! 教えて、先生のこと (ねらい) 今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しをもつ。					●			●	1
8月	STEP Lesson 3	She is a cook. (ねらい) 友だちや家族、知っている人のことを説明する。[友だちや家族の紹介]								6	
	Panorama	■おはなしキャラクターの街	He [She] is Is he [she] . . . ? Yes, he [she] is. / No, he [she] is not. He [She] can He [She] is good at This is He [She] is my hero.	【主な発信語彙】 be good at / can / can't / he / hero / is / it / my / no / not / she / this / yes / who / 職業 / 施設 / 動詞 / 形容詞 / 家族 【主な受容語彙】 人 (boy, brother, girl, man, mother, sister, woman など) / big / hot / look at / pan / too	●						
Listen & Talk	★heやsheを使って人の名前や職業を紹介したり、やりとりしたりする。	●									
Enjoy Listening	★他者紹介を聞いて概要をとらえる。	●									
Talk to Friends	★家族や友だち、自分のヒーローを紹介する。	○									
Story	■「12の月のおくりもの」(1) ★イラストを見ながら音声を聞いて概要をとらえる。	○	●								
Chant	■SC: p/p/-b/b/, h/h/の音 ■WC: 職業・施設	○	●								
Enjoy Reading	■p/p/-b/b/, h/h/の音 ★音声を聞きながら文字を追って概要をとらえる。	○	●								
Write & Speak	★自分のヒーローについて書き、友だちに紹介する。						●	●			
10月	STEP Lesson 4	I get up at 7:00. 一日の生活 (ねらい) ふだん、何時にどんなことをするかを伝える。[一日にすることとその時間]								6	
	Panorama	■一日の生活	What time is it? It's 時間. I (生活動詞) . . . at (時間). What time do you . . . ? I (usually) . . . at (時間).	【主な発信語彙】 at / do / I / is / you / what time / 生活動詞 (get up, eat breakfast, eat dinner, take a bath, go to bed) / lunch / always / usually / a.m. / p.m. / 飲食物 / 数 【主な受容語彙】 ant / big / clean / dad / dog / look / moon / small / star / sun / this / very	●						
	Listen & Talk	★世界の都市の時刻を尋ね合う。 ★自分の一日について何時にどんなことをするか伝え合う。			●			●			
	Enjoy Listening	★日曜日の生活について聞いて概要をとらえる。			●						
	Talk to Friends	★自分の一日の生活について伝え合う。			○						
	Story	■「12の月のおくりもの」(2) ★イラストを見ながら音声を聞いて概要をとらえる。			○						
	Chant	■SC: t/t/-d/d/, a/æ/の音 ■WC: 生活動詞			○						
	Enjoy Reading	■t/t/-d/d/, a/æ/の音 ★音声を聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●					
	Write & Talk	★日曜日にすることを友だちと伝え合う。							●		●
	Try 世界の時差	(ねらい) 時刻の表現に慣れ親しむ。									
	★音声を聞いて各都市の今の時刻を答える。	It is . . . a.m. [p.m.]			【主な発信語彙】 it / is / a.m. / p.m. / 数 【主な受容語彙】 都市	●					1

月	コーナー	■題材・場面 ★主な活動	児童が発話する主な表現	主な発信語彙・受容語彙	L	R	S(I)	S(P)	W	配当時間		
11月	STEP Lesson 5 I play soccer on Mondays. 月曜日には何をします? [ねらい] ふだんよくすることや習慣を伝える。[ふだんよくすること]											
	Panorama	■朝の学校の風景	(It is) On (曜日s). I have (教科など). I (一般動詞) ... on (曜日s). I have [practice / go to] ... on (曜日s).	【主な発信語彙】I / have / like / on / 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday) / 教科 / 楽器 / スポーツ / 動詞 【主な受容語彙】rabbit / be careful / egg / feed / great / happy birthday / jump rope / let's / sit / sun / tag / unicycle / water / what / when / zoo	●						6	
	Listen & Talk	★その教科が何曜日にあるかや、土曜日にすることを伝え合う。			●		●					
	Enjoy Listening	★よくすることや習慣について聞いて概要をとらえる。			●	●						
	Talk to Friends	★好きな教科や、よくすることや習慣を伝え合う。			●	●						
	実世界の英語	■メッセージカード ★音声聞いて、会話の内容に合うカードを選ぶ。			○							
	Chant	■SC: s/s-/z/z/, i/i/, e/e/ の音 ■WC: 教科			○							
Enjoy Reading	■s/s-/z/z/, i/i/, e/e/ の音 ★音声を聞きながら文字を追って概要をとらえる。	○			●							
Listen & Write	★明日の時間割でいちばん楽しみな教科などを書く。	●						●				
12月	JUMP Presentation 2 He is a music teacher. 知ってる? 先生のこと [ねらい] 先生にインタビューをして、わかったことを伝える。[先生紹介]											
	JUMP 1	★先生の得意なことを、インタビューして尋ねる。	Lesson 3~5の言語材料 (中学年~L2の言語材料を含む)	【主な発信語彙】can / can't / he / hello / hint please / I / she / thank you / you / who / May I ask you a question? / 動詞など	○		●	●			6 (8)	
	JUMP 2	★先生についてわかったことをクイズにまとめ、出題する。										
1月	HOP Get Ready 3 Welcome to Japan! 日本のこと、伝えたい [ねらい] 今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しもつ。											
		★自分の好きな場所を紹介する。★日本のどんな場所やものを紹介できるようになりたいか目標を立てる。			●			●		1		
1月	STEP Lesson 6 It is in the box. さがしものは、どこ? [ねらい] ものの場所や位置を説明する。[位置や場所]											
	Panorama	■マジシャンの部屋	(It is) On ... (It is) In ... (It is) By ... (It is) Under ... Where is ...? It is in (場所). (もの) is on / in / under ... You can ...	【主な発信語彙】is / it / where / 前置詞 (on, in, by, under) / 身の回りのもの / 飲食物 / 色 / 動物 / 文房具 / 自然 【主な受容語彙】動詞 / 国・都市 / cat / fox / rat	●						6	
	Listen & Talk	★on, in, by, underを使って、キングをさがせゲームをする。			●		●					
	Enjoy Listening	★日本の名所について、場所当てクイズを作り、出題し合う。			●							
	Talk to Friends	★国技館について、場所やできることの説明を聞いて概要をとらえる。			○							
	Story	■『幸福の王子』 ★イラストを見ながら音声を聞いて概要をとらえる。			○	●						
	Chant	■SC: x/ks/, r/r/, o/o/ の音 ■WC: 前置詞 (on, in, by, under)			○							
	Enjoy Reading	■x/ks/, r/r/, o/o/ の音 ★音声を聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●						
Write & Talk	★オリジナルサウンドイッチを考えて、具の順番について伝え合う。								●	●		
Try 道案内 [ねらい] 道案内で使われる表現に慣れ親しむ。												
		★会話聞いて、どこに行くか答える。 ★行き先を決めて、ペアで道案内する。	Where is ...? Go straight for ... blocks. Turn left/right at ... You can see it on your left/right.	【主な発信語彙】at / block / can / corner / for / go / is / it / left / on / right / straight / the / turn / you / your / where / 数 / 序数 【主な受容語彙】施設	●		●			1		
2月	STEP Lesson 7 I want to go to Kenya. 行ってみたいところ [ねらい] 行きたい場所と、そこでしたいことを伝える。[行きたい国]											
	Panorama	■世界地図と有名なもの	I want to go to ... I want to (一般動詞) ... Where do you want to go? How about you?	【主な発信語彙】I / want / to / go / in / where / do / you / 国 / 動詞 / 飲食物 / 施設 / 自然 / スポーツ 【主な受容語彙】chat / jam / jet / let's / look at / look up / some	●						6	
	Listen & Talk	★行きたい国や場所と、そこでしたいことを伝え合う。			●		●					
	Enjoy Listening	★白良浜の場所やしたいことについて、発表を聞いて概要をとらえる。			●		●					
	Talk to Friends	★行きたい場所とそこでしたいことを伝え合う。			○							
	実世界の英語	■観光案内ポスター ★行きたい国を伝え合う。			○	●						
	Chant	■SC: ch/tʃ-/j-/dʒ/, u/ʌ/ の音 ■WC: 国名			○							
Enjoy Reading	■ch/tʃ-/j-/dʒ/, u/ʌ/ の音 ★音声を聞きながら文字を追って概要をとらえる。	○			●							
Write & Talk	★自分の行きたい国を書く。 ★友だちに行きたい国を尋ねる。★友だちの名前をローマ字で書く。						●	●				
3月	JUMP Presentation 3 Mt. Fuji is beautiful. 日本のここ、おすすめ! [ねらい] おすすめ (場所・こと・もの) と、その理由を伝える。[おすすめの場所・こと・もの]											
	JUMP 1	★グループで、おすすめの場所、こと、ものなどを紹介する。	Lesson 6~7の言語材料 (中学年~L5の言語材料を含む)	【主な発信語彙】can / hello / I / in / is / it / thank you / you / 自然 / 形容詞 / 動詞など	○		●	●			6 (8)	
	JUMP 2	★グループで、ポスターを作成し、ポスターセッションをする。										



指導・学習内容一覧 6年

太字 = 新出現

月	コーナー	■題材・場面 ★主な活動	児童が発話する主な表現	主な発信語彙・受容語彙	L	R	S (I)	S (P)	W	配当時間
4月	英語で言えるかな	★5年生までに経験した語句・表現を確認する。			●		●			1
	HOP Get Ready 1	Welcome to our school. ようこそ、わたしたちの学校へ【ねらい】今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しをもつ。 ★学校の好きなところを言う。★どんな学校行事を紹介できるようになりたいか目標を立てる。			●		●			
5月	STEP Lesson 1	We are from India. わたし、あなた、わたしたち【ねらい】友だちや家族のことを伝える。【友だちや家族】								6
	Panorama	■ニックの家でホームパーティー			●					
	Listen & Talk	★気持ち、持ち物、所属、できることが同じ友だちを探し、ペアやグループで伝える。	We are We have We like We can	【主な発信語彙】 am / are / can / can't / don't / have / he / I / is / like / she / you / we / 飲食物 / 楽器 / 遊び / スポーツ / 動詞 / 動物 / 家族	●		●			
	Enjoy Listening Talk to Friends	★自己紹介を聞いて、ふたりの共通点の概要をとらえる。 ★ペアやグループで、ほかのペアやグループと自分たちのことを伝え合う。	I like I have I can	【主な受容語彙】 all / from / junior high school / student / too / van / wash / wet	○					
	Story	■『ガリバー旅行記』★イラストを見ながら音声聞いて概要をとらえる。			●					
	Chant	■SC : w/w/, f/f/-v/v/ の音 ■WC : スポーツの名前			○					
	Enjoy Reading	■w/w/, f/f/-v/v/ の音 ★音声聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●				
	Write & Talk	★好きなもの、持っている楽器を書き、仲間を探して自分たちの共通点を発表する。					●		●	
STEP Lesson 2	We have Children's Day in May. こどもの日は5月にあります【ねらい】日本の行事や学校行事を伝える。【行事や文化】								6	
Panorama	■一年の行事と町			●						
Listen & Talk	★何月にどんな行事があるか伝える。 ★町にどんな施設や店があるか伝え合う。 ★学校行事の紹介を聞いて概要をとらえる。	In (月). We have (行事) in (月). We have (施設) in (場所). We can	【主な発信語彙】 have / in / we / 月 / 四季 / 行事 / 施設 / 自然 / 動詞 【主な受容語彙】 map / net / new / old / 国 (Canada, China, France, India, Japan, Kenya, New Zealand)	●		●				
Enjoy Listening Talk to Friends	★ペアで、行事や施設、そこで何ができるかなどを伝え合う。			○	●			○		
実世界の英語	■国名の省略形 ★省略のルールを推測し、同じルールのものを選んで書く。			○						
Chant	■SC : m/m/-n/n/ の音 ■WC : 季節・学校行事			○	●					
Enjoy Reading	■m/m/-n/n/ の音 ★音声聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●					
Write & Speak	★日本の行事を海外の人に伝える文を書く。★友だちと伝え合う。							● ●		
7月	JUMP Presentation 1	This is our school. わたしたちの学校【ねらい】学校行事と、そのよさを伝える。【学校紹介】								6 (8)
JUMP 1	★グループで、好きな学校行事と、その魅力を紹介する。	Lesson 1~2の言語材料 (中学年~5年の言語材料を含む)	【主な発信語彙】 have / I / in / school / we / 行事 / 月 / 形容詞など	○		●	●			
JUMP 2	★グループで、好きな学校行事とその魅力を発信するため、ポスターを作成したり動画を撮影したりする。									
9月 (8月)	HOP Get Ready 2	My Memories こんな思い出、あるよね【ねらい】今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しをもつ。 ★好きな学校行事を伝える。★どんな思い出を紹介できるようになりたいか目標を立てる。			●		●			1
STEP Lesson 3	I went to Hawaii. 夏休みの思い出【ねらい】夏休みに行った場所と、そこでしたことを伝える。【夏休みにしたこと】(過去形)								6	
Panorama	■夏休み明けの教室			●						
Listen & Talk	★夏休みや週末にどこへ行ったか伝え合う。 ★過去に見たものや食べたもの、楽しんだことを伝え合う。	I went to I saw I ate I enjoyed ~ing.	【主な発信語彙】 ate / enjoyed / I / saw / summer vacation / went / 施設 / 自然 / 飲食物 / 動詞 / 形容詞 【主な受容語彙】 cake / cut / happy birthday / let's / party / sing / song / time	●		●				
Enjoy Listening Talk to Friends	★休暇や夏休みにしたことを聞いて概要をとらえる。 ★ペアで、週末や休暇にどこに行き何をしたか伝え合う。			●						
Story	■『青い鳥』(1) ★イラストを見ながら音声聞いて概要をとらえる。			○						
Chant	■SC : ng/ŋ/, c/k/ の音 ■WC : enjoy ~ingで使える語			○	●					
Enjoy Reading	■ng/ŋ/, c/k/ の音 ★音声聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●					
Write & Talk	★夏休みの思い出を絵日記にまとめ、絵日記を見せながら伝え合う。							●		
STEP Lesson 4	I am hungry. 様子や特徴【ねらい】もの様子や特徴、自分の気持ちなどを伝える。【もの様子や特徴】(形容詞のまとめ)								6	
Panorama	■動物園			●						
Listen & Talk	★自分の持ち物や動物などについて、様子や特徴を説明する。 ★気分や気持ちなど、今の自分の状態を伝え合う。 ★動物自己紹介クイズをする。	It is (状態を表す形容詞). I am (気持ちを表す形容詞). I have a (形容詞+名詞). This is I like My . . . is (形容詞).	【主な発信語彙】 am / are / have / I / is / it / my / special / 色 / 数 / 形容詞 / 動物 / 身体 【主な受容語彙】 yacht / Teddy bear	●		●				
Enjoy Listening Talk to Friends	★屋久杉の紹介を聞いて概要をとらえる。 ★ペアで、自分の好きなものについて、様子や特徴を伝え合う。			●						
Story	■『青い鳥』(2) ★イラストを見ながら音声聞いて概要をとらえる。			○						
Chant	■SC : I/I, y/j/ の音 ■WC : 反対の意味になる形容詞			○	●					
Enjoy Reading	■I/I, y/j/ の音 ★音声聞きながら文字を追って概要をとらえる。			○	●					
Write & Speak	★自分の持っているものについて詩を書く。★書いた詩を伝え合う。							● ●		
Try	買い物【ねらい】買い物で使われる表現に慣れ親しむ。 ■国際フードフェスティバル ★会話を聞いて、何を注文したかを答える。 ★買い物ゲームをする。	What would you like? I'd like How much is it? It's (値段).	【主な発信語彙】 Here you go [are]. / Thank you. 【主な受容語彙】 飲食物 / 数	●		●			1	

月	コーナー	■題材・場面 ★主な活動	児童が発話する主な表現	主な発信語彙・受容語彙	L	R	S(I)	S(P)	W	配当時間
11月	STEP Lesson 5 It was green. 春と秋を比べて [ねらい] 現在の状態と過去の状態を比べて言う。[現在の状態と過去の状態]									
	Panorama	■里山の風景				●				
	Listen & Talk	★現在の状態と過去の状態を比較して言う。 ★過去の出来事について、行った場所、したこと、そのときの様子などを言う。	It is (形容詞). It was (形容詞). It is (名詞). It was (名詞). I went to I saw I ate What is this?	[主な発信語彙] dollar / I / is / it / now / sixth grade / this / was / what [主な受容語彙] 動詞 / 動詞 (過去形) / 色 / 形容詞 / 施設 / 自然 / 動物 / 飲食物 / ball / for / get / go / goal / kick	●		●			
	Enjoy Listening Talk to Friends	★クラブ活動について、現在の所属と過去の所属を聞いて概要をとらえる。 ★ペアで、過去の出来事について、行った場所、したこと、そのときの様子などを伝え合う。								
	実世界の英語	■ハンバーガーショップのメニュー ★オーダーゲームをする。				●		●		
	Chant	■SC: k/k/-g/g/の音 ■WC: 形容詞 (状態や気持ち)				○				
	Enjoy Reading	■k/k/-g/g/の音 ★音声を聞きながら文字を追いついて概要をとらえる。				○	●			
Write & Speak	★現在の状態と過去の状態についてのクイズを作り、友だちと出題し合う。				●			●	●	
JUMP Presentation 2 My best memory is 最高の思い出は… [ねらい] 小学校での思い出を伝える。[思い出紹介]										
12月	JUMP 1	★小学校での思い出をメモリーブックに書く。 ★メモリーブックを見せながら思い出紹介をする。	Lesson 3~5の言語材料 (中学年~L2の言語材料を含む)	[主な発信語彙] best memory / grade / hello / I / is / it / my / thank you / was / 行事 / 動詞 (過去形) など		○		●	●	
	JUMP 2	★メモリーブックを完成させて、6年間の思い出紹介をする。(Show & Tell)								
1月	HOP Get Ready 3 My Dream かなえない、わたしの夢 [ねらい] 今の自分の力でできること、できないことを確かめる。JUMPに向けて見通しをもつ。									
		★好きなことや得意なことを伝える。★将来つきたい職業について、どんなことを伝えられるようになりたいか目標を立てる。				●		●		
STEP Lesson 6 I want to be a vet. なりたいものは、何? [ねらい] 将来つきたい職業と、その理由を伝える。[つきたい職業]										
2月	Panorama	■26の職業				●				
	Listen & Talk	★将来つきたい職業と、その理由やしたいことを伝え合う。 ★将来つきたい職業とその理由の発表を聞いて概要をとらえる。 ★ペアで、将来つきたい職業と、その理由やしたいことなどを伝え合う。	He is a (職業名). She is a (職業名). I want to be a (職業名). I want to What do you want to be?	[主な発信語彙] be / I / to / want [主な受容語彙] can / 動詞 / 職業 / come / look at / please / queen / quick / quiet / shhh / ship	●			●		
	Story	■『メリーさんの羊』 ★イラストを見ながら音声を聞いて概要をとらえる。				●				
	Chant	■SC: sh/ʃ/, q/kw/の音 ■WC: はたらく乗り物				○				
	Enjoy Reading	■sh/ʃ/, q/kw/の音 ★音声を聞きながら文字を追いついて概要をとらえる。				○	●			
	Write & Talk	★将来つきたい職業を書き、友だちにつきたい職業をたずねてクラスのランキングを作る。							●	●
STEP Lesson 7 At This Moment 今、この瞬間 [ねらい] 日本の文化を伝える。ほかの国の文化を知る。[日本の文化・他国の文化] (国際理解・共生)										
2月	Panorama	■世界のさまざまな場所と人々				●				
	Listen & Talk	★日本の文化を伝える。 ★自分ができそうなボランティア活動や、やってみたい活動を伝え合う。 ★世界の伝統的な行事やまつりの説明を聞く。日本の伝統的な行事やまつりについて伝える。 ★英文を聞いて概要をとらえる。 ★ペアで、近い将来や遠い未来の夢や希望を伝え合う。	中学年~Lesson 6の言語材料 I want to read	総復習						
	Enjoy Listening Talk to Friends									
	実世界の英語	★本のタイトル ★どの本を読んでみたいか伝え合う。				○	●	●		
	Chant	■SC: th/θ/-th/ð/の音 ■WC: いろいろな動詞				○				
	Enjoy Reading	■th/θ/-th/ð/の音 ★音声を聞きながら文字を追いついて概要をとらえる。				○	●			
Write & Talk	★プロフィールカードを書き、今の自分について伝え合う。							●	●	
JUMP Presentation 3 I want to be a 20年後のわたしはきっと… [ねらい] 将来どんな職業につきたいかを、理由とともに伝える。[将来の夢]										
3月	JUMP 1	★将来つきたい職業、その理由、その職業についてたらどんなことをしたいか、できるかを発表する。	Lesson 6~7の言語材料 (中学年~L5の言語材料を含む)	[主な発信語彙] can / dream / hello / I / in / is / it / thank you / you / 職業 / 動詞など		○		●	●	
	JUMP 2	★グループで、将来の夢を伝える動画を撮影する。								

2020年度版CROWN Jr. 検討の観点と内容の特色

項目	検討の観点	内容の特色
1 内容の 取扱い	教育基本法を踏まえた教科書になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●全体の構成は、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力を育成できるように配慮されている。 ●取り上げる題材は、身の回りの生活に関する事柄のほか、日本の伝統文化および他国の文化、動物や自然、将来の職業など、幅広く児童の知的欲求に合致するものが選択され、伝統や文化の尊重、国際的な視野、命や自然を大切にす心、主体的に社会に参画する態度などを育成できるように配慮されている。 ●言語活動においては、それぞれの力に応じて取り組むことができ、かつ個の考えや気持ちを尊重できる課題を設定しており、個々の創造性を発揮し自律的に学ぶことができるように工夫されている。
	学習指導要領に対応した工夫、配慮はどのようになされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領で求められる「外国語」のねらい、内容、時間数への対応が適切であるとともに、「外国語活動」の内容からの接続が円滑に図られるように配慮しているなど、教育課程上の改訂に対応している。 ●基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得すること、それらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を段階的に育成できるような構成になっている。またその中で、多様な題材を提示し、言語活動で思考力・判断力・表現力を養えるような配慮がされている。 ●学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどがわかりやすく提示されているとともに、学ぶプロセスを踏まえた構成になっており、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮されている。
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けての配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●言語活動は、主体的な学びがおこなわれるように児童それぞれの考えや気持ちを重視し、ペアワークやグループワークが多く配置され、対話的な学びがおこりやすいよう配慮されている。小単元の終わりや大単元のまとめにあたる活動は、既出の事項を駆使して思考力、判断力、表現力を働かせて深い学びにつながる課題が設定されている。
	教科の目標達成に必要な内容が適切に盛り込まれているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●2学年を通して、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどの「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」を確実に身に付けられるように、内容が選択・配列されている。 ●言語活動においては目的や場面、状況などが明確で、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら活動に取り組めるように工夫されている。児童の興味を喚起させる場面設定や話題、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に配置され、「他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」が育成できるように工夫されている。 ●言語や文化に関する題材や資料が適切に配置され、外国語の学習を通じて、「外国語の背景にある文化に対する理解を深め」られるように配慮されている。
2 内容の 程度	児童の発達段階に適合した内容が選択されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●高学年の発達段階や特性を踏まえた題材・言語活動・付録の資料などが適切に配置されている。
	言語材料の程度は適当か。	<ul style="list-style-type: none"> ●文構造は、基本的なものが選択・提示され、外国語活動や中学校との接続を十分に踏まえ、大単元の最終課題に取り組めるように配慮されている。 ●語彙については、児童の言語活動に必要な観点から、表現のための語彙（発信語彙）、理解のための語彙（受容語彙）が適切に選択されている。語彙の大部分はイラストとともに綴りが提示されており、児童が表現活動をする際の助けとなっている。 ●音声に関しては、基本的項目が取り上げられており、Chantを中心に継続して配置されている。また、日本語との違いや音と文字の関係に気づきを促す工夫が随所でなされている。
	言語活動の程度は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る練習活動と、思考・判断・表現を重視した言語活動が、バランスよく選択されている。活動の分量やタスクの内容も単元や学年の進行を踏まえて積み上げられている。
	題材内容の程度は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●題材内容は児童の知的発達段階に十分な配慮がされており、適切である。学校生活や家庭生活などの児童に身近な内容から、日本の伝統文化・他国の文化、自然、将来の職業など、幅広い題材を取り上げ、児童の興味・関心に沿った内容が選択されている。
	発展的な学習内容の扱いは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●文構造の発展的な学習内容であることがわかるよう明示されており、意欲的な児童が取り組めるようになっている。

項目	検討の観点	内容の特色
3 組 織 ・ 配 列	内容の組織・配列は学習指導上の効果が上がるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●2学年で6つの言語活動の目標を設定し、それらに向けて学びを深めるために6つの大単元を配置している。大単元は、新学習指導要領の3つの柱「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成が図れるよう、ねらいの異なる小単元を、段階を追って配置する構成としている。新学習指導要領が求めるコミュニケーション力の基礎、学びに向かう力の育成に適した構成となっている。
	言語材料の組織・配列は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●文及び文構造や語彙は、基本的には単純なものからやや複雑なものへゆるやかに傾斜配置され、かつ大単元の言語活動の目標に合わせて選択・配列されている。 ●既出のものを踏まえて新出のものを導入する流れが随所に見られ、ことばへの気づきを促す工夫がなされている。 ●音声の項目については、その基礎的なものをSound ChantやEnjoy Readingなどで段階を追って扱っている。同一の小単元内のSound ChantとEnjoy Readingは扱う項目を連動させ、時期をずらしながら経験させることで、学習効果が上がる工夫をしている。 ●文字については、第5学年の最初の大単元でアルファベットの形、名称読み、音読みを一通り経験させる。その後、「読むこと」については、基礎的なものをSound ChantやEnjoy Readingで系統的に扱い、「書くこと」については言語活動に関連させながら自分の考えや気持ちを伝える形で文字を経験させるように工夫している。
	言語活動の組織・配列は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●言語活動は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することを重視したものと思考力、判断力、表現力の育成を重視したものがバランスよく配分され、前者が後者と関連を持ちながらつながる配列になっている。 ●Listen & Talk→Enjoy Listening→Talk to Friendsの流れの中で、言語活動を通して段階的にターゲット表現の習熟が図られる配列になっている。 ●Story、「実世界の英語」が適宜配置され、一定量の英語を聞く経験を通して、推測する力やあいまいさに耐える力を養う工夫がされている。 ●Panoramaは、一枚絵の中にターゲット表現や語彙などにつながる人物やものなどが描かれている。それらを話題にしながら、Small Talkをはじめ、さまざまな言語活動が無理なく組める構成になっている。 ●文字の音を意識させるSound Chantのあとに、Enjoy Readingが配置され、文字の読み方に意識を向けながら短いストーリーの内容を理解させる言語活動が組める。 ●STEPの各Lessonのまとめは「書くこと」を含む言語活動が設定され、自分の考えや気持ちを書き写して表現できる。
	題材の組織配列は適切に配置されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●題材は、第5学年では、「自分のこと」「身の回りのこと」「友だちや先生などの身近な人のこと」「ふだんの生活のこと」「日本のこと」を扱い、第6学年では、「自分たちのこと」から始まり、「過去のこと」「将来のこと」「世界のこと」を扱っている。各学年とも、題材内容の配列に広がりや深まりを持たせている。
	言語の使用場面、言語の働きは適切に配置されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●Panoramaを中心に家庭生活、学校生活、地域の行事など児童の身近な暮らしに係る場面を扱い、特長な表現がよく使われる買い物、食事、道案内などはTryを中心に扱っており、適切に配置されている。 ●学習指導要領に示された言語の働きについては、多様な場面設定の言語活動において音声や文字で経験することができる。 ●「コミュニケーションを円滑にする」方略についてのコラムがあり、児童が言語活動をする際の助けとなっている。
	付録は効果的に配置されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション活動で利用できる語彙や表現のリスト、言語や文化についての背景知識のコラム、ことばを学んだりコミュニケーションをとったりする際の方略に関する資料など、活用度、資料性の高いものが、本編と関連を持ちながら、巻頭、本編の合間、巻末に豊富に配置されている。それらは、授業や自学自習の場面で多様な使い方ができるようになっている。 ●巻末にはカードや地図など切り取りができる板紙の付録がついており、活動を豊かにする工夫がされている。



2020年度版CROWN Jr. 検討の観点と内容の特色

項目	検討の観点	内容の特色
4 分量	全体の分量	●全体として、分量は学習・指導上で無理がないように精選されている。指導時数は、第5学年65(70)時間、第6学年64(70)時間で設定されているが、単元によって弾力的に運用できる構成になっているので、学校や地域の実態に応じて、時間数を調整できる。
	言語材料の分量	●学習指導要領で求められている小学校段階で十分な分量の語について、音声と文字で触れられるようになっている。また、連語、表現についても活動で必要となる十分な量が確保され、音声で触れることができ、必要に応じて文字でも触れられるようになっている。 ●学習指導要領で求められている文及び文構造については、必要十分なものが網羅され、それらが繰り返し提示されることで、学習者の理解、習熟を促している。
	活動の量	●診断的な活動、練習活動、言語活動など異なるねらいの活動について、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」を確実に身につけられるに十分な量が、それぞれ適切な配分で配置されている。
5 教育課程の編成や授業を組み立てる上での工夫。	他教科、道徳、総合的な学習の時間との関連について配慮されているか。	●他教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を意識した題材が取り上げられ、学習効果上がるように工夫されている。また、関連する付録の資料も適切に配置され、深い学びが実現できるよう配慮されている。教科書に登場人物として学習者と同学年の児童(男女各3名)を登場させており、学習者は教科書の登場人物とともに成長していけるように配慮されている。
	小学校外国語活動を踏まえた内容になっているか。	●第5学年の冒頭で、小学校外国語活動で触れてきた単語や表現の主なものに触れながら、コミュニケーションをすることの楽しさ、大切さを確認できるように配慮されている。 ●大単元は、言語活動を通して児童それぞれがそれまでの学習で育んできた力でできることを確認することからはじまっており(HOP)、児童が外国語活動との接続を意識できる構成になっている。 ●表現・語彙は小学校外国語活動で慣れ親しんだものを繰り返し言語活動の中で使えるよう配慮されている。 ●英語の音声への慣れ親しみを踏まえ、音から文字へ段階的に学べる構成になっている。
	短時間学習(モジュール学習)への対応は適切か。	●Lesson(STEP)の各Partは2時間の授業を基本としているが、Listen & Talk、Storyまたは「実世界の英語」、Chantの性格の異なる3つのコーナーは独立させることも可能なので、それぞれが短時間の授業に振り替えやすく、1時間+短時間授業の教育課程にも充分対応できる構成になっている。 ●Presentation(JUMP)は、学習の手順におけるまとまりがわかりやすく、それぞれが短時間の授業に振り替えやすいものとなっている。また、JUMPは、STEPの積み重ねを踏まえた活動となっているので、JUMPを進めながら、短時間学習をSTEPのふりかえりにあてるなど、進度や児童の実態に応じて、時間配分ができる。
	中学校につながる内容になっているか。	●学びの見通しを立てる(HOP)→基礎的・基本的な知識・技能を習得する(STEP)→実際の場面で表現[活用]する(JUMP)の大単元の構成が、中学校教科書と構造的に同じで、学びのプロセスが一致しており、中学校への移行がスムーズにできる。 ●中学校の初期に多用される書体も用いており、中学校で本格化する「読む」「書く」活動に無理なく移行できる。 ●中学校で習得すべき文・文構造や表現の基本的なものや、豊富な語句に触れることができ、中学校での言語活動が豊かに展開できる。
	担任が指導しやすくなっているか。	●小単元ごとにねらいが示され、何を目標にするかがわかりやすい。また、各小単元の構成が一定で、学習の流れがわかりやすい。活動の最中にはどこに取り組んでいるのか教師にとっても児童にとっても明確である。 ●Panorama、Word Bank、Words & Phrasesなど、随所に英語が付されたイラストが提示され、英語での表現の助けとなっている。

項目	検討の観点	内容の特色
6 デザイン・レイアウト・活字・さし絵・写真・図版等	ユニバーサルデザインへの取り組みはされているか。	●専門家の校閲により、能力そして性別などの違いに関係なく、すべての人が利用しやすいデザインになっている。デザイン面だけでなく、教科書の本文および活動の内容についても、学習上の支障がないように配慮されている。
	紙面の構成は学習に有効なものになっているか。	●大判（A3判）であり、イラストや写真が大きく、わかりやすいと同時に迫力があり、児童の学習意欲を喚起できるものとなっている。 ●「教科書の使い方」では、教科書の紙面構成や記号についていねいに説明されていて、児童が使いやすいものになっている。
	色覚特性に配慮した紙面構成になっているか。	●紙面全体の構成やデザイン、イラスト・地図などの図版、および記号などの配色や形・大きさに工夫がなされ、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。
	活字の大きさや書体、行間は適切か。	●文字の大きさは読むのに適切なものになっており、読みやすい。書体は読みやすいものが使われており、特に書く活動のモデルとなる英語については手書き文字の書体が使われ、学習がしやすくなっている。
	表記、表現は児童にとって適切か。	●漢字は原則的に当該学年の前までの配当漢字を使用し、当該学年以上の漢字にはすべてふりがなをつけ、読みの抵抗を軽減できるよう配慮されている。
7 造本・印刷	用紙・インキは環境に配慮したのものになっているか。	●環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。
	印刷・製本は適切か。	●印刷はとても鮮明で、カラーの写真・さし絵も含め、きわめて美しく仕上げられている。紙も白色度の高すぎないものが使用されており、見やすい。製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられるものとなっている。





● 著者

酒井英樹 信州大学

相田真喜子 田園調布雙葉小学校

今井裕之 関西大学

入江潤 明星学園小学校

大田亜紀 別府大学短期大学部

長田恵理 國學院大学

梶本朋子 神戸市立井吹の丘小学校

Cameron Blain 明星学園小学校

新海かおる 春日部市立武里小学校

滝沢雄一 金沢大学

瀧本哲弘 明石市立中崎小学校

竹内理 関西大学

田縁真弓 ノートルダム学院小学校

永井淳子 東京都市大学付属小学校

中西浩一 平安女学院大学

長沼久美子 横須賀市立鶴久保小学校

根岸雅史 東京外国語大学

箱崎雄子 大阪教育大学

日基滋之 玉川大学

眞崎克彦 元明石市立中崎小学校

松沢伸二 新潟大学

松宮新吾 追手門学院大学

松宮奈賀子 広島大学

物井尚子 千葉大学

山本玲子 京都外国語大学・京都外国語短期大学

横田玲子 神戸市外国語大学

吉田晴世 大阪教育大学

白井恭弘 Case Western Reserve University

堀田龍也 東北大学

株式会社 三省堂

● 校閲

[特別支援教育] 笹森洋樹 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

[カラーユニバーサルデザイン] 溝上陽子 千葉大学

[英文] Richard Ichiro Steinsiek 兵庫教育大学附属小学校 James Patrick Devine 甲南高等学校・中学校

[文字] 手島良 武蔵高等学校中学校

● 編集協力

池田真生子 関西大学

宇土泰寛 椋山女学園大学

大石晴美 岐阜聖徳学園大学

加藤茂夫 新潟大学

後藤信義 中部学院大学

小林省三 国本小学校

佐藤玲子 明星大学

外山節子 敬和学園大学

林敏博 椋山女学園大学

福原史子 ノートルダム清心女子大学

藤井佐代子 中国学園大学

三浦邦子 元文京区立誠之小学校

溝上慎一 桐蔭学園

村田美和 高崎健康福祉大学

和田順一 松本大学

(ほか小学校教員など72名)

2020年度版 小学校英語教科書ウェブサイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>

この内容解説資料の内容に加え、編修趣意書、各種資料、指導法動画、指導者用デジタル教科書(教材)の体験サイトなど
さまざまな情報を掲載しております。

* QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 TEL 03-3230-9411(編集)・03-3230-9412(営業)

● 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 TEL 06-6341-2177

● 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F TEL 052-953-9211

● 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 TEL 092-531-1531

● 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F TEL 011-616-8722